Ｓｐｒｏｔｅｇ－Ｍ

SLA－3271（無線機接続用）

SLB－3271（マイク接続用）

取扱説明書

第１版

平成２３年　１０月

株式会社　大日電子

安全上のご注意

この「安全上のご注意」には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。

ご使用の際には、必ず本体取扱説明書をお読みになるとともに、次の内容（表示・図記号）を良く理解して、記載事項をお守りください。

【表示の説明】

表　示	表　示　の　意　味
警告	”誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷を負う可能性のあること”を示します。
注意	”誤った取扱いをすると人が傷害（※１）を負う可能性、または物的損害（※２）のみが発生する可能性のあること”を示します。

※１：障害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※２：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害をさします。

【図記号の説明】

図 記 号	図　記　号　の　意　味
⃠	禁止（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
●	強制（必ずすること）を示します。具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

免責事項

商品の故障、誤動作などにより、利用の機会（通話など）を逃したために発生した障害などの付随的損害については、当社は一切その責任を負いかねます。

警告

●分解・改造・修理をしないこと。 火災・感電・けがの恐れがあります。	分解禁止
●分解・改造・修理をしないこと。 火災・感電・けがの恐れがあります。	火気禁止
●定格電源電圧以外で使用しないこと。 火災・感電の恐れがあります。	禁　止
●ぬれた手で接続ケーブルや電源コードを抜き差ししないこと。 感電の恐れがあります。	禁　止
●接続ケーブルや電源コードを折り曲げたり、ねじったり傷つけたり、熱器具に近づけたり、加熱しないこと。 接続ケーブルや電源コードの破損により火災・感電の恐れがあります。 万一、接続ケーブルや電源コードが傷ついた時は弊社サービス課に交換をご依頼ください。	禁　止
●装置内部にクリップやヘアピンなどの金属物を入れないこと。 配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。 万一、異物が入った場合は弊社サービス課まで連絡ください。	禁　止
●装置に水や薬品をかけないこと。 配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。 万一、水や薬品が入った場合は弊社サービス課まで連絡ください。	禁　止
●電源端子の作業前に必ず供給電源を切ること。 感電の恐れがあります。	強　制

注意

内容	表示
●暑い場所（＋４０℃以上）や直射日光の当たる場所には設置しないこと。 内部の温度が上がったり、絶縁が悪くなり、火災・感電の恐れがあります。	禁　止
●湿気やほこりの多いところには設置しないこと。 配線がショートし、火災・感電の恐れがあります。	禁　止
●冷気が直接吹きつける場所には設置しないこと。 装置が結露し、火災・感電の恐れがあります。	禁　止
●装置を設置するときはぐらついた所や傾いた所など不安定な場所には設置しないこと 転倒により故障・けがの恐れがあります。	禁　止
●装置を設置するときは確実に設置すること 転倒により故障・けがの恐れがあります。	強　制
●電源の投入・切断は指定の手順に従うこと。 故障の恐れがあります。	強　制
●電源を入れたまま内部ユニットの抜き差しをしないこと。 火災・感電、故障の恐れがあります。	禁　止

取扱上のお願い

■　本装置を使用中及び操作中に、異常と感じられましたら速やかに当社実施の点検、調査を受けて下さい。

目　　次

1 概要

１）本装置は、IP ネットワークを利用して音声と制御信号の通信を行う VOIP インターフェース装置です。IP ネットワーク経由で MCA 無線機を遠隔地からハイパーマイク等で操作することが可能になります。
無線機接続用の本装置に MCA 無線機本体を接続し、マイク接続用の本装置にマイクを接続し、本装置間を IP ネットワークで結ぶことで使用することができます。
　また、シリアルインターフェース（RS-232C）を実装しており、無線機側の本装置に接続されたシリアル通信端末と、マイク側の本装置に接続されたシリアル通信端末を、IP ネットワーク経由で接続することができます。

２）構造は、卓上型で、電源は AC100V を使用します。

本装置は以下の機能を有します。

１）VOIP 変換機能を有し、IP ネットワーク上の対向する Sproteg-M と通信し、MCA 無線機を遠隔地からマイクで操作することが可能です。

２）シリアルインターフェース（RS-232C）を有し、IP ネットワーク上の対向する Sproteg-M と通信し、MCA 無線機から出力される GPS データ等を遠隔地の PC で取得することが可能です。

３）IP ネットワーク経由で IP アドレス等ネットワークの設定変更が可能です。
（28 ページ）

４）IP ネットワーク経由で通信ログを確認することが可能です。（23 ページ）

５）電源 ON／OFF や通信の状態を正面パネルの LED で表示することが可能です。

2 梱包内容

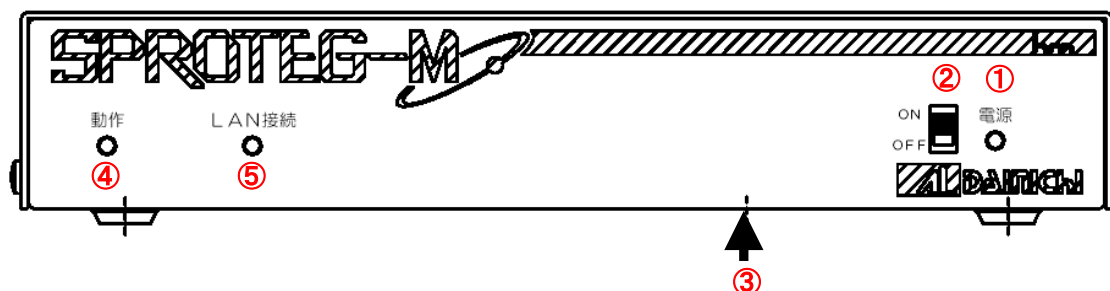
2.1 Sproteg-M／SLA-3271

項番	項　目	型　名	数量
1	Sproteg-M 本体	SLA-3271	１台
2	ヒューズ（3A）	SLA-7963	１本
3	AC アダプタ	SLA-7964	１個
4	無線機接続ケーブル（1m）	SLA-7965	１本
5	取扱説明書（本書）		１部

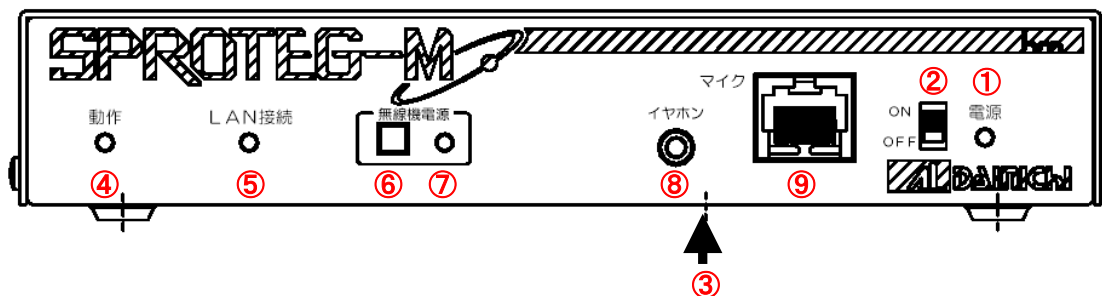
2.2 Sproteg-M／SLB-3271

項番	項　目	型　名	数量
1	Sproteg-M 本体	SLB-3271	１台
2	ヒューズ（3A）	SLA-7963	１本
3	AC アダプタ	SLA-7964	１個

3 各部の名称と機能

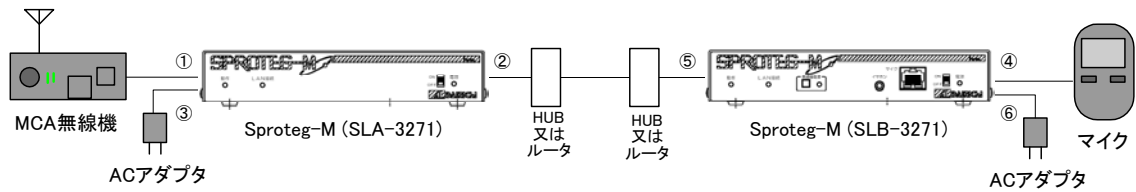
3.1 正面（無線機接続用） (SLA-3271)

3.2 背面（無線機接続用） (SLA-3271)

番号	名　称	機　能
①	電源 LED（緑）	電源 ON 時、緑色点灯します。
②	電源スイッチ	電源 ON／OFF スイッチです。
③	初期化スイッチ	長押しすると設定を工場出荷時の状態に戻します。装置底面の穴から押してください。 ※本装置正面の動作 LED と LAN 接続 LED が緑色と赤色の交互点滅状態になるまでスイッチを押し続けてください。
④	動作 LED（緑／赤）	機器が動作中は緑色点灯します。 機器が起動中は赤色点灯します。 （起動時間：約１分） 機器が再起動中は緑と赤色に交互に点滅します。
⑤	LAN 接続 LED（緑／赤）	対向局と接続すると緑色点灯します。 対向局からの音声パケットロスが多くなると緑色点滅します。 対向局との接続が切れると赤色点灯します。 起動時から対向局と接続するまで緑と赤色に交互に点滅します。
⑩	FG ターミナル	FG の接続端子です。
⑪	電源コネクタ	電源アダプタ（DC5V）を接続するコネクタです。
⑫	ヒューズホルダー	ヒューズ（3A）が入っています。
⑬	無線機接続コネクタ	MCA 無線機を接続するコネクタです。
⑭	RS-232C コネクタ	MCA 無線機のシリアルインターフェースと接続するコネクタです。
⑮	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続するコネクタです。
⑯	ケーブルクランプ	電源アダプタのケーブル等を固定してください。

3.3 正面（マイク接続用） （SLB-3271）

3.4 背面（マイク接続用） （SLB-3271）

番号	名 称	機 能
①	電源 LED（緑）	電源 ON 時、緑色点灯します。
②	電源スイッチ	電源 ON／OFF スイッチです。
③	初期化スイッチ	長押しすると設定を工場出荷時の状態に戻します。装置底面の穴から押してください。 ※本装置正面の動作 LED と LAN 接続 LED が緑色と赤色の交互点滅状態になるまでスイッチを押し続けてください。
④	動作 LED（緑／赤）	機器が動作中は緑色点灯します。 機器が起動中は赤色点灯します。 （起動時間：約１分） 機器が再起動中は緑と赤色に交互に点滅します。
⑤	LAN 接続 LED（緑／赤）	対向局と接続すると緑色点灯します。 対向局からの音声パケットロスが多くなると緑色点滅します。 対向局との接続が切れると赤色点灯します。 起動時から対向局と接続するまで緑と赤色に交互に点滅します。
⑥	無線機電源スイッチ	対向局に接続されている MCA 無線機の電源を ON/OFF するスイッチです。
⑦	無線機電源 LED（緑）	対向局に接続されている MCA 無線機の電源が ON 時緑色点灯します。
⑧	イヤホンジャック	イヤホン又はアンプ内蔵スピーカを接続することで、MCA 無線機の受話音声が聞けます。
⑨	マイク接続コネクタ	MCA 無線機用マイクを接続するコネクタです。
⑩	FG ターミナル	FG の接続端子です。
⑪	電源コネクタ	電源アダプタ（DC5V）を接続するコネクタです。
⑫	ヒューズホルダー	ヒューズ（3A）が入っています。
⑭	RS-232C コネクタ	PC 等のシリアルインターフェースと接続するコネクタです。
⑮	LAN コネクタ	LAN ケーブルを接続するコネクタです。
⑯	ケーブルクランプ	電源アダプタのケーブル等を固定してください。

4　装置の起動

4.1　MCA 無線機とマイクのみを使用の場合

１）機器の接続

①Sproteg-M（SLA-3271）の背面にある「無線機」コネクタに添付の無線機接続ケーブルを接続し、MCA 無線機のマイクコネクタと接続します。

②Sproteg-M（SLA-3271）の背面にある「ＬＡＮ」コネクタに LAN ケーブルを接続し、HUB 又はルータと接続します。

③Sproteg-M（SLA-3271）の背面にある電源コネクタ「DC IN」に AC アダプタを接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。

④Sproteg-M（SLB-3271）の正面にある「マイク」コネクタに MCA 無線機用マイクを直接接続します。

⑤Sproteg-M（SLB-3271）の背面にある「ＬＡＮ」コネクタに LAN ケーブルを接続し、HUB 又はルータと接続します。

⑥Sproteg-M（SLB-3271）の背面にある電源コネクタ「DC IN」に AC アダプタを接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。

※１　AC アダプタは接続後、誤って抜けないように本装置のケーブルクランプに結束バンド等で固定してください。

※２　据付場所は、あまり温度が上がらず湿度の低い場所が適当です。
直射日光の当たる場所はさけてください。

２）Sproteg-M（SLA/B-3271 共通）の電源を入れます。
Sproteg-M が起動動作を開始します。（約 40 秒間）
このとき、電源 LED（緑）、動作 LED（赤）が点灯し、LAN LED が緑色と赤色に交互に点滅します。

※３　この間は MCA 無線機－マイク間の通信はできません。

３）約１分経過後 Sproteg-M（SLA-3271、SLB-3271 共）の LED が下記のように点灯
していることを確認します。

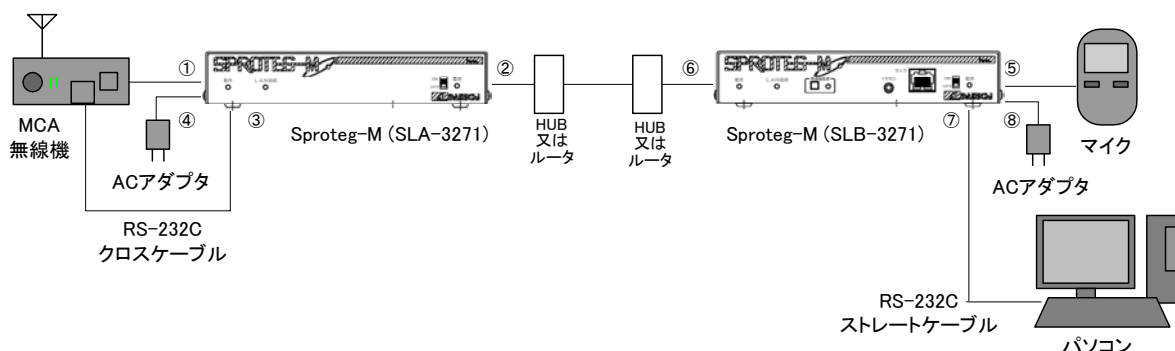
動作	LED(緑)	点灯
LAN	LED(緑)	点灯
電源	LED(緑)	点灯

※４　Sproteg-M の LED の点灯状態が上記と異なる場合は「6 故障かなと思ったら」
（39 ページ）をご確認下さい。

以上でマイクから MCA 無線機を操作できるようになります。

４）接続テスト
マイクから無線機を操作し、無線機の電源 ON/OFF ができることやマイクから無線機が
操作できることを確認して下さい。

※５　IP ネットワーク経由で IP アドレス等ネットワークの設定変更が可能です。
※６　HUB の代わりにルータで VPN を構成することで遠隔地との接続が可能になります。
なお、VPN の設定は専門の業者に委託して下さい。
※７　MCA 無線機及びマイクの使用方法はそれぞれの取扱説明書をご覧下さい。

4.2　MCA 無線機とマイクおよびシリアル通信機器を使用の場合

１）機器の接続

①Sproteg-M（SLA-3271）の背面にある「無線機」コネクタに添付の無線機接続ケーブルを接続し、MCA 無線機のマイクコネクタと接続します。

②Sproteg-M（SLA-3271）の背面にある「ＬＡＮ」コネクタに LAN ケーブルを接続し、HUB 又はルータと接続します。

③Sproteg-M（SLA-3271）の背面にある「RS-232C」コネクタに RS-232C クロスケーブルを接続し、MCA 無線機のシリアルインターフェースコネクタと接続します。

④Sproteg-M（SLA-3271）の背面にある電源コネクタ「DC IN」に AC アダプタを接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。

⑤Sproteg-M（SLB-3271）の正面にある「マイク」コネクタに MCA 無線機用マイクを直接接続します。

⑥Sproteg-M（SLB-3271）の背面にある「ＬＡＮ」コネクタに LAN ケーブルを接続し、HUB 又はルータと接続します。

⑦Sproteg-M（SLB-3271）の背面にある「RS-232C」コネクタに RS-232C ストレートケーブルを接続し、パソコン等のシリアルインターフェースコネクタと接続します。

⑧Sproteg-M（SLB-3271）の背面にある電源コネクタ「DC IN」に AC アダプタを接続し、AC アダプタをコンセントに差し込みます。

※１　AC アダプタは接続後、誤って抜けないように本装置のケーブルクランプに結束バンド等で固定してください。

※２　据付場所は、あまり温度が上がらず湿度の低い場所が適当です。
直射日光の当たる場所はさけてください。

２）Sproteg-M（SLA/B-3271 共通）の電源を入れます。
Sproteg-M が起動動作を開始します。（約 40 秒間）
このとき、電源 LED（緑）、動作 LED（赤）が点灯し、LAN LED が緑色と赤色に交互に点滅します。

※３　この間は MCA 無線機ーマイク間の通信はできません。

３）約１分経過後 Sproteg-M（SLA-3271、SLB-3271 共）の LED が下記のように点灯
していることを確認します。

動作	LED(緑)	点灯
LAN	LED(緑)	点灯
電源	LED(緑)	点灯

※４　Sproteg-M の LED の点灯状態が上記と異なる場合は「6 故障かなと思ったら」
（39 ページ）をご確認下さい。

以上でマイクから MCA 無線機を操作できるようになり、パソコン等で MCA 無線機から
データを取得できるようになります。

４）接続テスト
マイクから無線機を操作し、無線機の電源 ON/OFF ができることやマイクから無線機が
操作できること､パソコン等で MCA 無線機からデータを取得できることを確認して下さい。

※５　IP ネットワーク経由で IP アドレス等ネットワークの設定変更が可能です。
※６　HUB の代わりにルータで VPN を構成することで遠隔地との接続が可能になります。
なお、VPN の設定は専門の業者に委託して下さい。
※７　MCA 無線機及びマイクの使用方法はそれぞれの取扱説明書をご覧下さい。

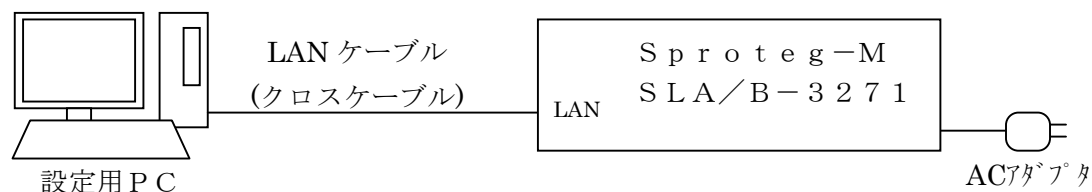
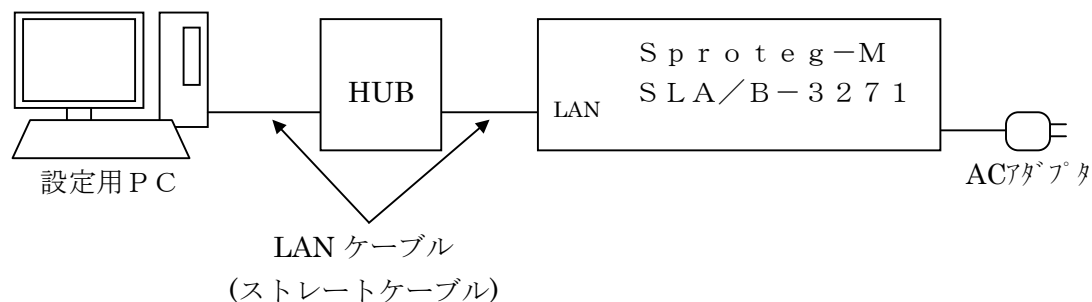
5 Ｗｅｂ設定

本装置とパソコンをLANで接続することで、パソコンのwebブラウザ(Internet Explorer 8)を使って本装置の状態確認や設定変更をすることができます。

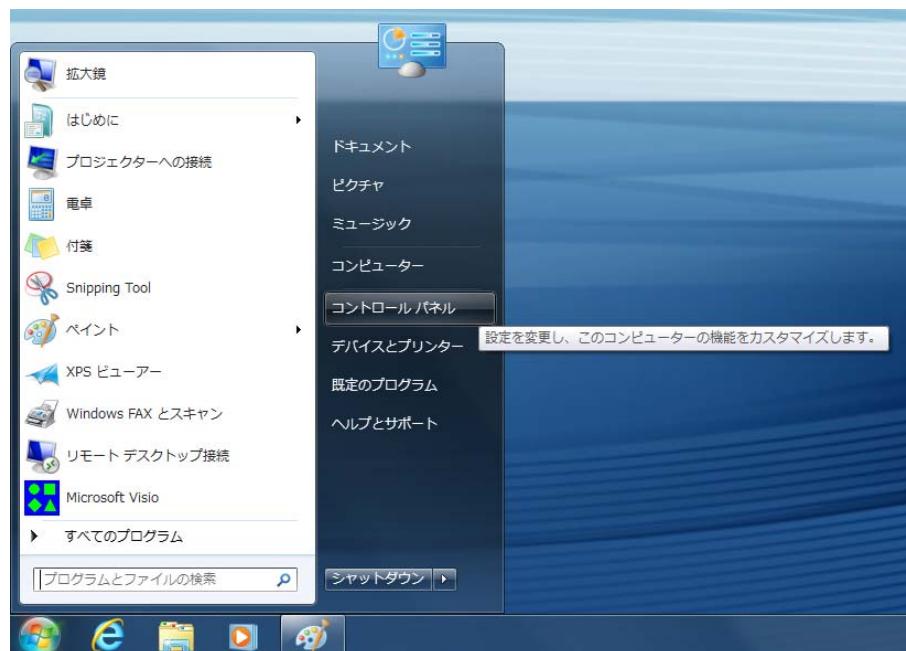
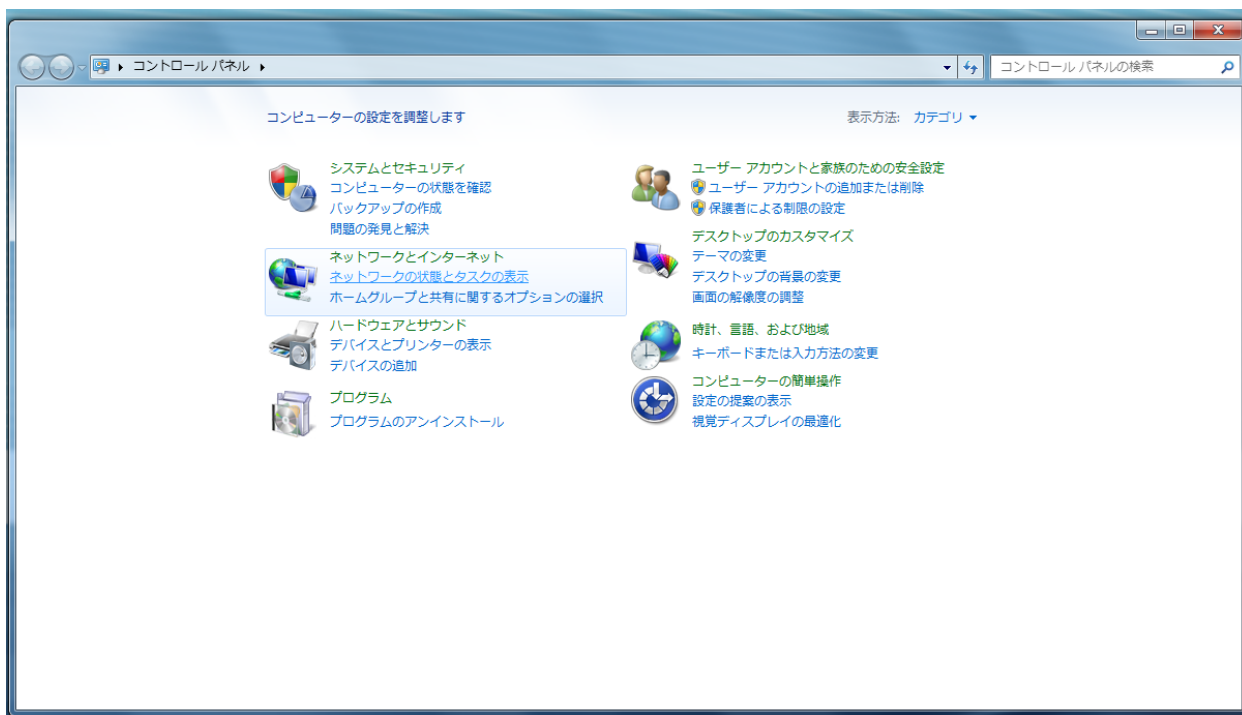
※ デフォルトのIPアドレスはSLA-3271（無線機接続用）が「192.168.0.10/24」、SLB-3271（マイク接続用）が「192.168.0.11/24」です。

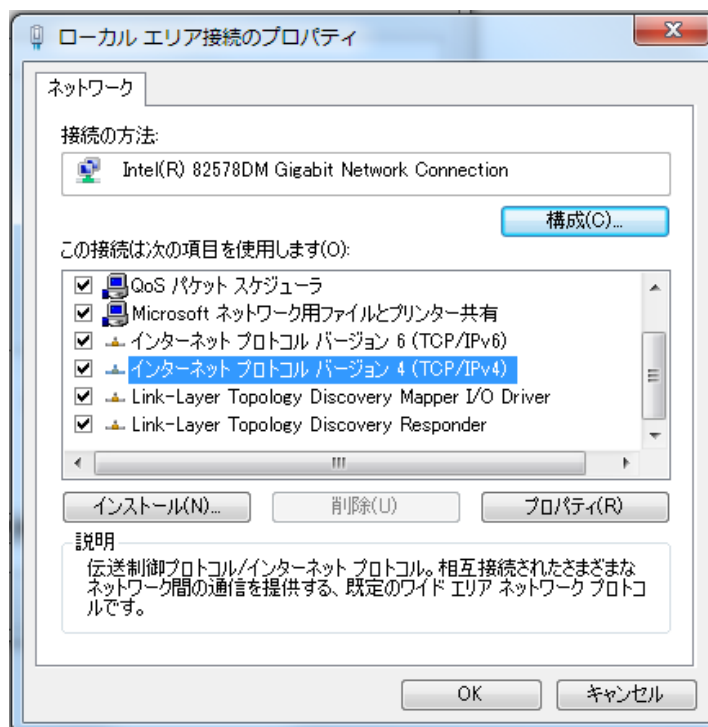
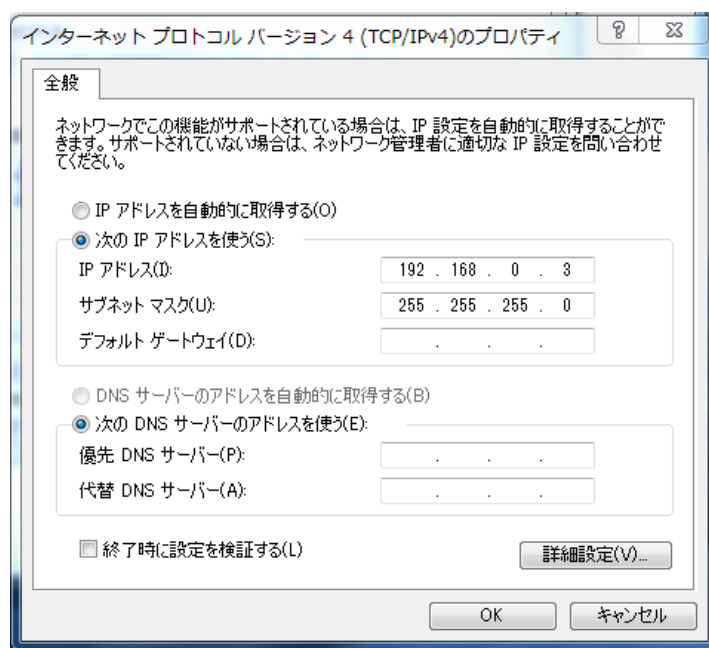
なお、本装置を設定する場合にはパソコンの設定を変更する必要がありますが、本装置の設定後は、パソコンを元の設定に戻す必要がありますので、必ず元の設定をメモ等に控えておいて下さい。

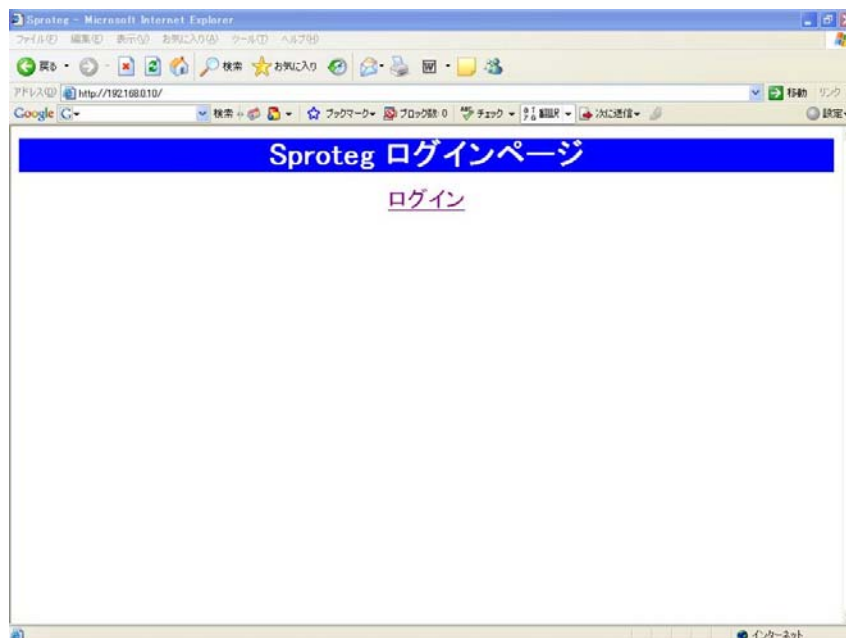
また、設定の際には、下図を参考に本装置とパソコンを直接LANケーブル（クロスケーブル）で接続又はHUBを経由してLANケーブル（ストレートケーブル）で接続して下さい。

（１）直接接続の場合

（２）HUB経由で接続の場合

5.1 パソコンの設定

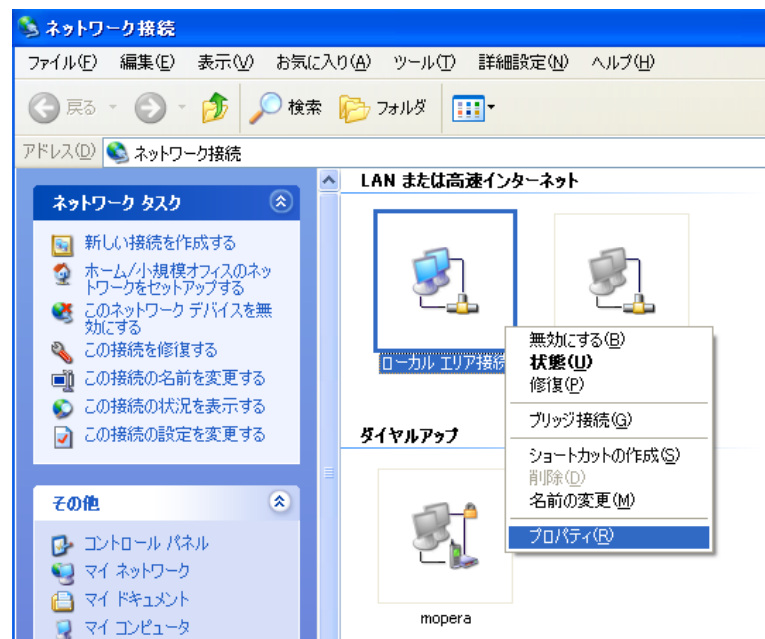
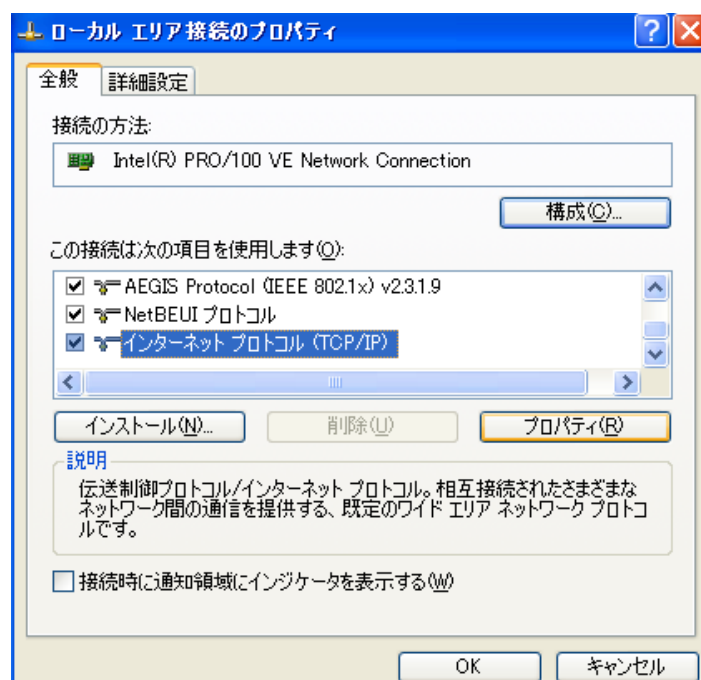
5.1.1 Windows 7 の場合

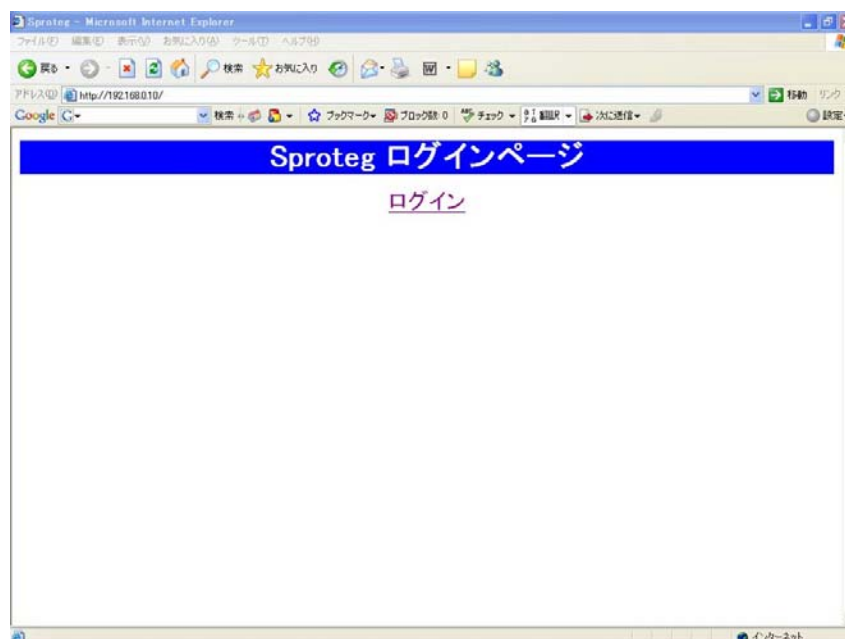
1）パソコンの IP アドレスの設定を変更します。
パソコンの Windows メニューから、「**コントロールパネル**」を選択します。

2）**コントロールパネル**画面で「**ネットワークの状態とタスクの表示**」を選択します。

３）ネットワークと共有センター画面で「ローカルエリア接続」を選択します。

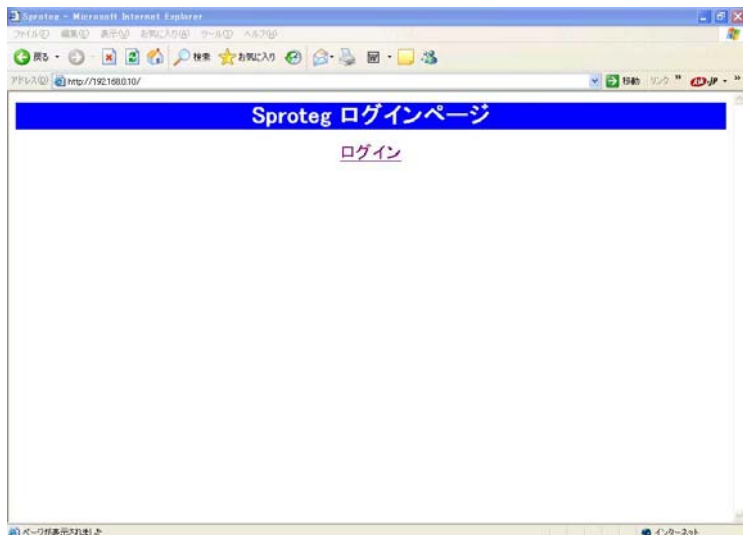
４）ローカルエリア接続のプロパティ画面で「インターネットプロトコルバージョン４（ＴＣＰ／ＩＰｖ４）」を選択し、「プロパティ」ボタンを選択します。

5）**「次の IP アドレスを使用する」**にチェックを入れ、
IP アドレスの設定を「192.168.0.3」
サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定します。
デフォルトゲートウェイ、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーは空欄として下さい。
（必ず下記の元の設定をメモ等に控えておいて下さい。
本装置の設定作業終了後、13～15 ページの手順でパソコンを元の設定に戻す必要があります。）
メモに残す内容
①チェックが付いているのは下記どちらかを確認して下さい。
「IP アドレスを自動的に取得する」／「次の IP アドレスを使う」
②「次の IP アドレスを使う」にチェックが付いている場合のみ、
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値を控えて下さい。
③チェックが付いているのは下記どちらかを確認して下さい。
「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」／「次の DNS サーバーのアドレスを使う」
④「次の次の DNS サーバーのアドレスを使う」にチェックが付いている場合のみ、
優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーの値を控えて下さい。

6）「ＯＫ」ボタンをクリックし、設定変更を完了します。

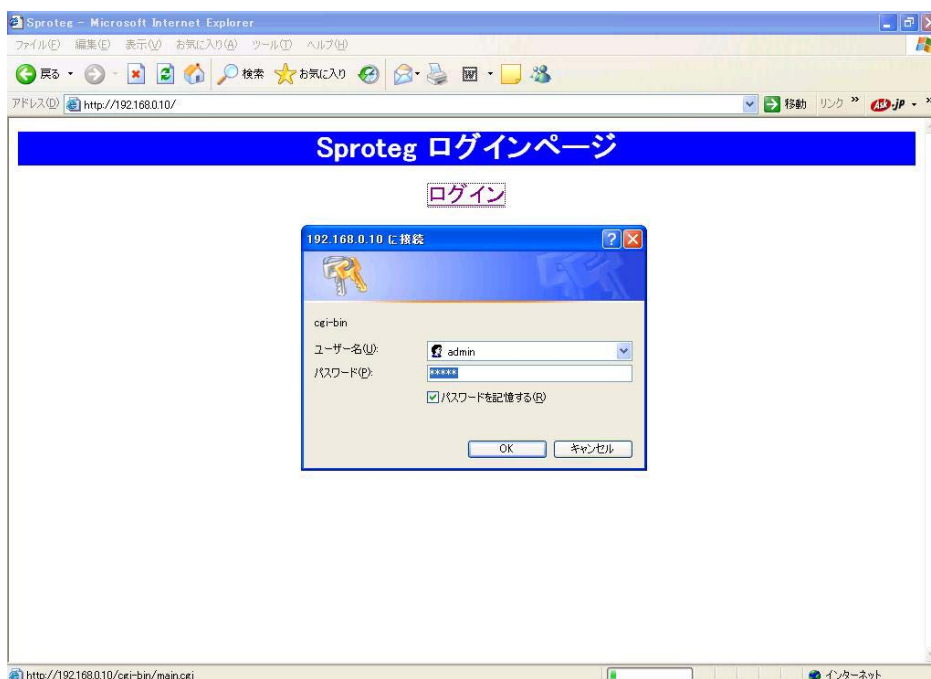
7）web ブラウザ（Internet Explorer 8）を開き、のアドレス欄に「http://192.168.0.10/」（無線機接続用）または「http://192.168.0.11/」（マイク接続用）を入力し Enter キーを押して下さい。
下記の Sproteg ログイン画面が表示されます。

5.1.2 Windows XP の場合

1）パソコンの IP アドレスの設定を変更します。
パソコンのスタートメニューから、「スタート」－「接続」－「すべての接続の表示」を選択していくと、ネットワーク接続画面が表示されます。

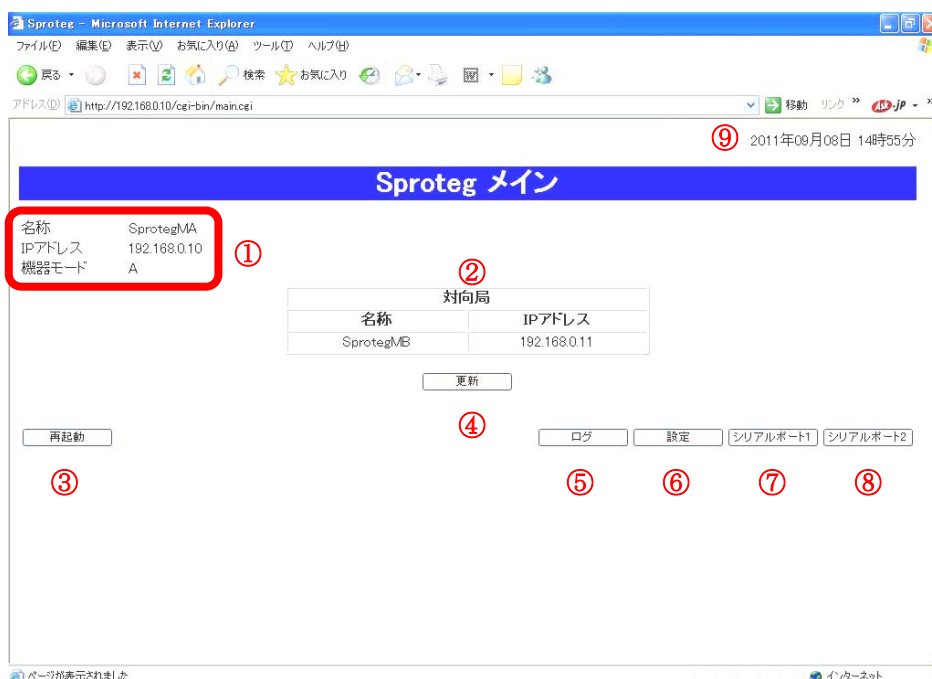
２）ネットワーク接続画面で「ローカルエリア接続」－「プロパティ」を選択していくと、ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。

３）ローカルエリア接続のプロパティ画面で「インターネットプロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ)」を選択し、「プロパティ」ボタンをクリックすると、インターネットプロトコル（ＴＣＰ／ＩＰ）のプロパティ画面が表示されます。

４）**「次の IP アドレスを使用する」**にチェックを入れ、
IP アドレスの設定を「192.168.0.3」
サブネットマスクを「255.255.255.0」に設定します。
デフォルトゲートウェイ、優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーは空欄として下さい。
（必ず下記の元の設定をメモ等に控えておいて下さい。
本装置の設定作業終了後、16～18 ページの手順でパソコンを元の設定に戻す必要があります。）
メモに残す内容
①チェックが付いているのは下記どちらかを確認して下さい。
「IP アドレスを自動的に取得する」／「次の IP アドレスを使う」
②「次の IP アドレスを使う」にチェックが付いている場合のみ、
IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイの値を控えて下さい。
③チェックが付いているのは下記どちらかを確認して下さい。
「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」／「次の DNS サーバーのアドレスを使う」
④「次の次の DNS サーバーのアドレスを使う」にチェックが付いている場合のみ、
優先 DNS サーバー、代替 DNS サーバーの値を控えて下さい。

５）「ＯＫ」ボタンをクリックし、設定変更を完了します。
６）web ブラウザ（Internet Explorer 8）を開き、のアドレス欄に「http://192.168.0.10/」（無線機接続用）または「http://192.168.0.11/」（マイク接続用）を入力し Enter キーを押して下さい。
下記のログイン画面が表示されます。

5.2 ログイン画面

1）web ブラウザを開き、のアドレス欄に「http://192.168.0.10/」（無線機接続用）または「http://192.168.0.11/」（マイク接続用）を入力し Enter キーを押すと、下記のログイン画面が表示されます。

2）「ログイン」をクリックして下さい。

3）ログインをクリックするとユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。

4）ユーザー名とパスワードを入力し、「ＯＫ」をクリックして下さい。
メイン画面が表示されます。
なお、デフォルトのユーザー名とパスワードは下記のとおりです。
ユーザー名：admin
パスワード：admin

5.3 メイン画面

ログインができると Sproteg-M のメイン画面が表示されます。
メイン画面を終了するには web ブラウザを終了してください。

メイン画面では下記の表示・操作ができます。

番号	名　称	機　　能
①	自局情報	本装置（自局）の情報が表示されます。
②	対向局情報	対向局の状態が表示されます。（※１） 接続している対向局の名称と IP アドレスが表示されます。 空欄の場合は未接続状態です。
③	再起動ボタン	クリックすると機器（自局）が再起動します。（22 ページ）
④	更新ボタン	クリックすると画面（対向局情報）を更新します。
⑤	ログボタン	クリックすると通信ログ画面へ移動します。（23 ページ）
⑥	設定ボタン	クリックすると設定入力画面へ移動します。（28 ページ）
⑦	シリアルポート１ボタン	クリックするとシリアルポート１設定画面へ移動します。（34 ページ） シリアルポート１では本装置背面の D-sub9 ピンコネクタの通信速度等が設定できます。
⑧	シリアルポート２ボタン	クリックするとシリアルポート２設定画面へ移動します。（38 ページ） シリアルポート２では無線機－マイク間のシリアルインターフェースの設定が確認できます。 ※設定の変更はできません。
⑨	日時	本装置の内蔵時計が持っている日時が表示されます。

※１　対向局情報は対向局から情報を取得して、その内容が表示されます。
なお、対向局からはリアルタイムで情報を取得していますが、Web ブラウザはリアルタイムで表示ができないため、更新ボタンを押すことで最新の情報が表示されます。

5.4 再起動画面

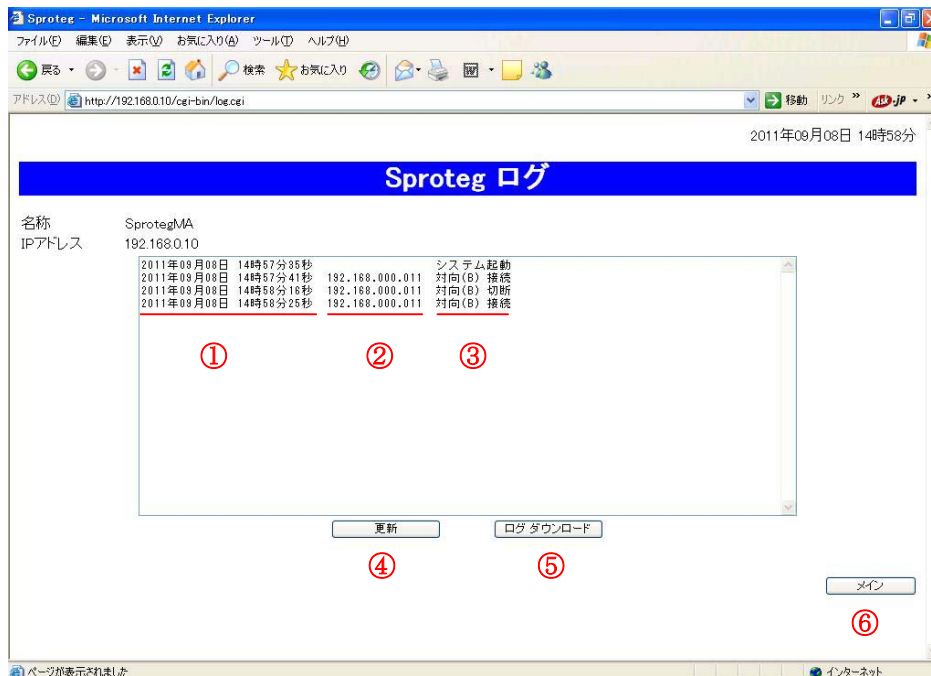
1）メイン画面から**「再起動」**ボタンをクリックすると再起動画面が表示されます。
そのままお待ち頂くと機器が自動的に再起動します。
再起動が完了するまで約１分間お待ち下さい。

2）**「メイン画面へ」**ボタンをクリックすると 21 ページのメイン画面に戻ります。

5.5　通信ログ画面

5.5.1　通信ログの確認

音声が途切れた時などに障害の有無を確認できます。

メイン画面から「ログ」ボタンをクリックするとログ画面が表示されます。

ログ画面では下記の表示・操作ができます。

番号	名　称	機　　能
①	ログ発生日時	ログが発生した日時を表示します。
②	対向局 IP アドレス	ネットワーク状態関係のログが発生した際に、対向局のIP アドレスを表示します。
③	ログ表示	起動やネットワーク状態のログを表示します。
④	更新ボタン	クリックすると画面（ログ）を更新します。
⑤	ログダウンロードボタン	クリックすると表示されているログをパソコンへ保存します。
⑥	メインボタン	クリックするとメイン画面へ移動します。

ログ画面に表示されるログの内容は下記のとおりです。

表　　示	内　　容
システム起動	Sproteg-M の電源が入ったことを示します。
システム停止	Sproteg-M が再起動のため一旦停止したことを示します。このため本体の電源スイッチで電源を切った場合やACアダプタを抜いて電源を切った場合は当ログは表示されません。
対向（Ｂ）接続 対向（Ａ）接続	対向局と通信状態になったことを示します。 また、対向局の IP アドレスが表示されます。
対向（Ｂ）切断 対向（Ａ）切断	対向局との通信が切断状態になったことを示します。 また、対向局の IP アドレスが表示されます。
対向（Ｂ）パケットロス発生 対向（Ａ）パケットロス発生	対向局との通信で１０％以上のパケットのロスが発生したことを示します。 また、対向局の IP アドレスが表示されます。
対向（Ｂ）パケットロス復旧 対向（Ａ）パケットロス復旧	対向局との通信で発生したパケットのロスが１０％以下に回復したことを示します。 また、対向局の IP アドレスが表示されます。

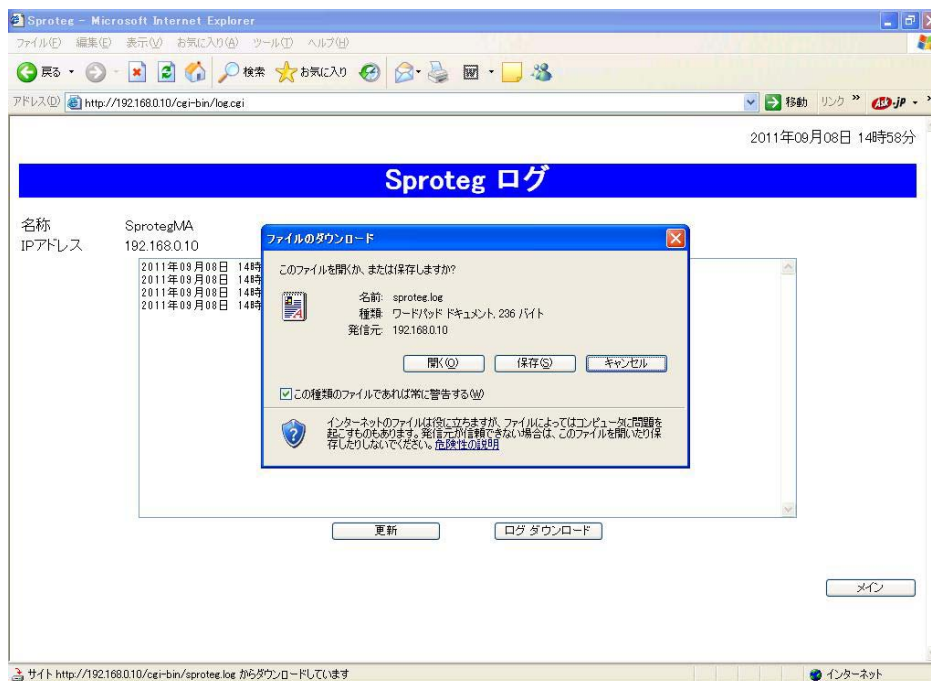
※１　接続、切断、パケットロス発生、パケットロス復旧のログは SLA-3271 のログには「対向（Ｂ）」、SLB-3271 のログには「対向（Ａ）」と表示されます。

※２　ログは古いものから順に表示されます。

※３　ログの表示件数は最大 100 件です。100 件を越えると古いログから順に削除されます。

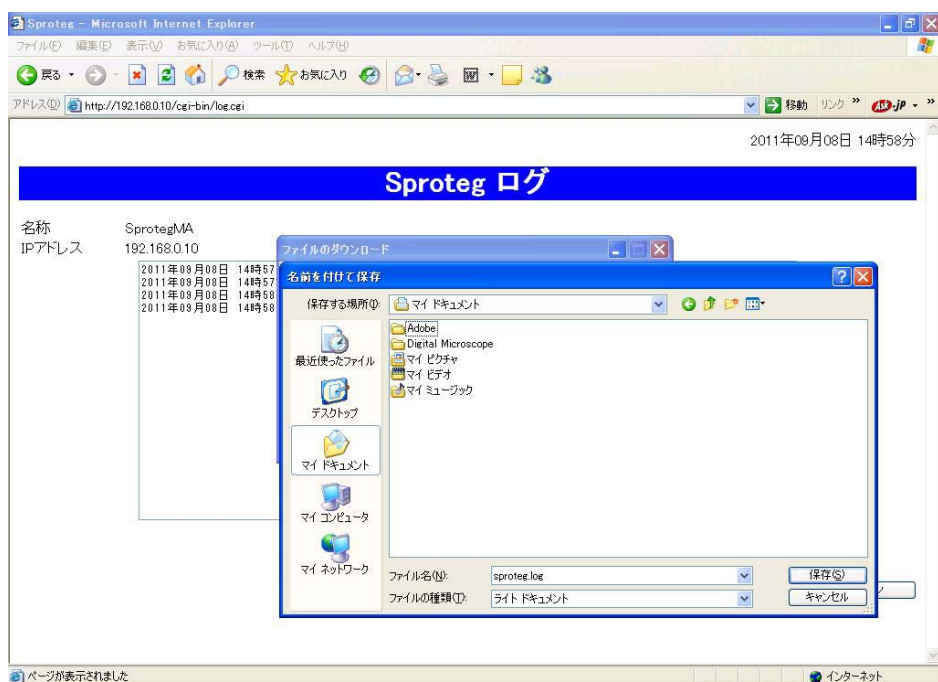
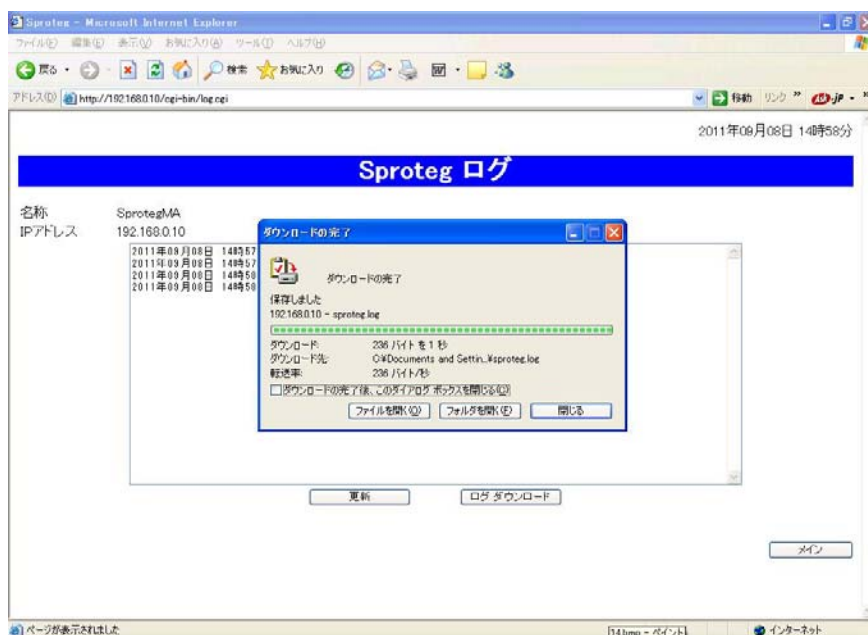
※４　日時は本装置に設定されている時刻です。このため日にちの経過と共に誤差が生じ、対向局のログとは一致しなくなります。
日時はあくまで目安としてご利用下さい。

5.5.2 通信ログのダウンロード

1）ログ画面から**「ログダウンロード」**ボタンをクリックするとファイルのダウンロード画面が表示されます。

2）**「保存（S）」**をクリックして下さい。
「名前を付けて保存画面」が表示されます。

なお、**「開く（O）」**をクリックするとその場でログファイルを開きます。
また、**「キャンセル」**をクリックするとログファイルのダウンロードをキャンセルしログ画面に戻ります。

3）ログファイルを保存するフォルダを選択し、**「保存（S）」**ボタンをクリックして下さい。
ファイルのダウンロードが開始されます。

なお、**「キャンセル」**をクリックするとログファイルのダウンロードをキャンセルし
ログ画面に戻ります。

４）ダウンロードが完了するとダウンロードの完了画面が表示されます。

５）「閉じる」ボタンをクリックすると 23 ページのログ画面に戻ります。

なお、「ファイルを開く（O)」をクリックするとその場で保存したログファイルを開きます。
また、「ファイルを開く（F)」をクリックするとエクスプローラが立ち上がり、ログファイルをダウンロードしたフォルダを表示します。

5.6 設定画面

5.6.1 設定入力画面

メイン画面から「設定」ボタンをクリックすると設定入力画面が表示されます。

設定入力画面では下記の操作ができます。

番号	名　称	機　　能
①	名称設定	自局名称を設定できます。(半角英数字 10 文字まで)
②	モード設定	「A」: 無線機接続　「B」: マイク接続です。
③	自局 IP アドレス	自局の IP アドレスを設定します。
④	自局サブネットマスク	自局のサブネットマスクを設定します。
⑤	自局デフォルト ゲートウェイ	自局のデフォルトゲートウェイを設定します。
⑥	相手局 IP アドレス	対向局の IP アドレスを設定します。
⑦	制御ポート	制御で使用する通信ポートを設定します。 対向局と同じポート番号に設定して下さい。
⑧	音声ポート OUT	音声出力で使用する通信ポートを設定します。 対向局の音声ポート IN と同じ番号に設定して下さい。
⑨	音声ポート IN	音声入力で使用する通信ポートを設定します。 対向局の音声ポート OUT と同じ番号に設定して下さい。
⑩	管理者ログイン	ログイン時に使用する ID を設定します。 (半角英数字 10 文字まで)
⑪	管理者パスワード	ログイン時に使用するパスワードを設定します。 (半角英数字 8 文字まで)
⑫	時計	自局の内蔵時計を設定します。
⑬	音声レベル	出力音声レベルです。設定変更不可です。
⑭	設定ボタン	クリックすると設定を更新します。
⑮	キャンセルボタン	クリックすると入力した値をクリアし、元に戻します。
⑯	メインボタン	クリックするとメイン画面へ移動します。

※グレーで薄く表示されている項目(②、⑬)は設定変更不可となっています。

（１）ＩＰ設定

ネットワーク構成によっては初期設定のままでは通信ができないことがあります。
IP アドレス等ネットワークの設定を変更する必要がある場合は下記の手順で設定を
行って下さい。

①メイン画面から**「設定」**ボタンをクリックし、設定入力画面を表示します。
②**自局ＩＰアドレス**欄に変更する IP アドレスを入力します。
③**自局サブネットマスク**欄に変更するサブネットマスクを入力します。
④**自局デフォルトゲートウェイ**欄に変更するゲートウェイのアドレスを入力します。
⑤**相手局ＩＰアドレス**欄に変更する対向局の IP アドレスを入力します。
⑥ルータ等のセキュリティ設定により使用できるポートに制限がある場合は
ポート番号設定を行って下さい。
通信ポートに制限がない場合は⑩の操作に進んで下さい。
⑦**制御ポート**欄に変更するポート番号を入力します。
制御ポートの番号は対向局の制御ポート番号と同じ値を設定して下さい。
⑧**音声ポート OUT** 欄に変更するポート番号を入力します。
音声ポート OUT の番号は対向局の音声ポート IN のポート番号と同じ値を
設定して下さい。
⑨**音声ポート IN** 欄に変更するポート番号を入力します。
音声ポート IN の番号は対向局の音声ポート OUT のポート番号と同じ値を
設定して下さい。
⑩設定値の入力が完了したら**「設定」**ボタンをクリックします。
⑪設定更新画面が表示され、機器が自動的に再起動しますので、起動が完了するまで
約１分間お待ち下さい。（起動の完了は本装置正面の「動作」LED で確認できます。）
※１分間は web からの操作を行わないで下さい。

（２）ログイン情報設定

本装置へログインするためのユーザー名、パスワードを変更します。
下記の手順で設定を行って下さい。

①メイン画面から**「設定」**ボタンをクリックし、設定入力画面を表示します。
②**管理者ログイン**欄に変更するユーザー名を入力します。
※半角英数字 10 文字まで入力できます。
③**管理者パスワード**欄に変更するパスワードを入力します。
※半角英数字 8 文字まで入力できます。
④設定値の入力が完了したら**「設定」**ボタンをクリックします。
⑤設定更新画面が表示され、機器が自動的に再起動しますので、起動が完了するまで
約１分間お待ち下さい。
※１分間は web からの操作を行わないで下さい。
※管理者ログイン又はパスワードを忘れた場合は、本装置底面の穴から本初期化スイッチを５秒以上押下することで、工場出荷時の状態（48、49 ページ）に戻せます。

（３）時計設定

本装置の時刻を変更します。

下記の手順で設定を行って下さい。

①メイン画面から**「設定」**ボタンをクリックし、設定入力画面を表示します。

②**時計**欄に現在の日時を入力します。

③設定値の入力が完了したら**「設定」**ボタンをクリックします。

④設定更新画面が表示され、機器が自動的に再起動しますので、起動が完了するまで約１分間お待ち下さい。

※１分間は web からの操作を行わないで下さい。

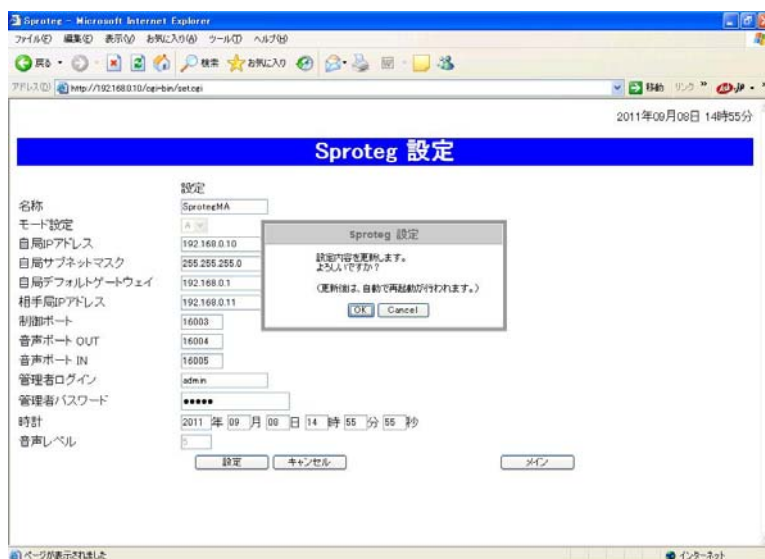
※日時は本装置に設定されている時刻です。

このため日にちの経過と共に誤差が生じる場合があります。

誤差が生じた場合は時計設定で時刻を合わせて下さい。

また、日時はあくまで目安としてご利用下さい。

5.6.2　設定更新画面

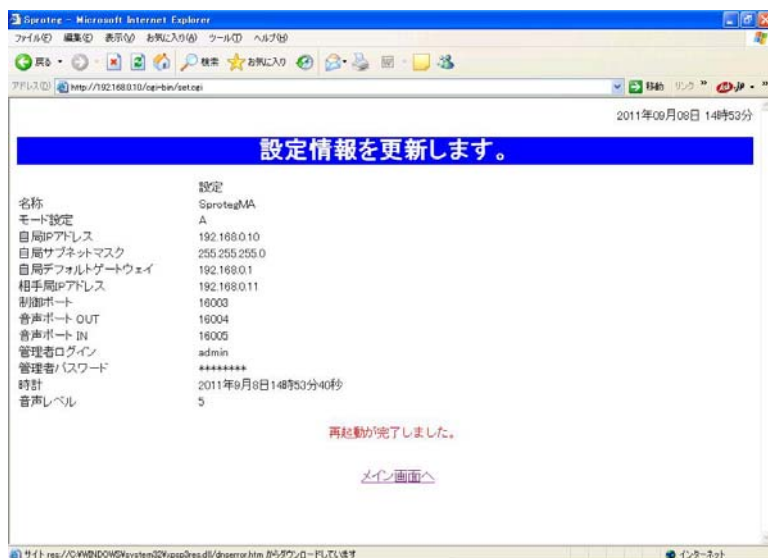
１）設定入力画面から「**設定**」ボタンをクリックすると設定更新の確認画面が表示されます。

２）「ＯＫ」をクリックして下さい。

設定情報の更新画面が表示されます。

なお､「Cancel」をクリックすると設定の更新をキャンセルし設定入力画面に戻ります。

３）設定更新の確認画面から「ＯＫ」ボタンをクリックすると設定更新画面が表示されます。

４）そのままお待ち頂くと機器が自動的に再起動します。
　　再起動が完了するまで約１分間お待ち下さい。
　　（起動の完了は本装置正面の「動作」LED で確認できます。）

５）再起動が完了すると再起動完了の画面が表示されます。

６）「**メイン画面へ**」ボタンをクリックすると 21 ページのメイン画面に戻ります。

なお、自局 IP アドレスをネットワークアドレス部分まで変更した場合（例えば 192.168.0.10 を 10.0.0.10 に変更した場合）は、機器の再起動が終了しても再起動完了の画面は表示されません。

このような場合は、パソコンの IP アドレスを変更し（13 ページ）再度ログイン画面（20 ページ）から操作を行ってください。

5.6.3 設定エラー画面

設定入力画面から「**設定**」ボタンをクリックすると、設定入力画面にエラーメッセージが表示されることがあります。

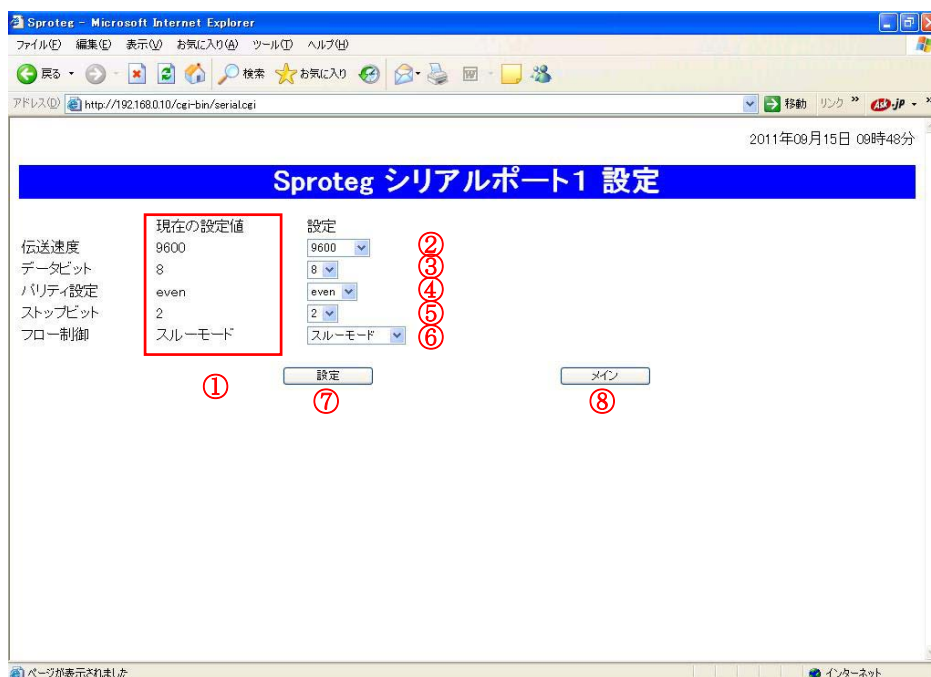
これは入力した値に誤りがあることを示しています。

この場合は、エラーメッセージを設定入力画面でご確認頂き、適切な値を再度設定して下さい。

エラーメッセージの内容につきましては設定画面エラーメッセージ一覧表（40～42 ページ）をご確認下さい。

5.7 シリアルポート１画面

5.7.1 シリアルポート１設定画面

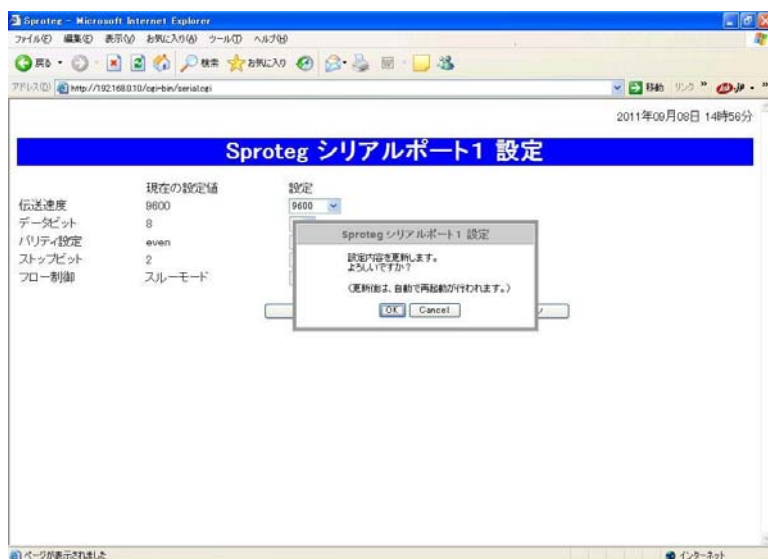
メイン画面から「シリアルポート１」ボタンをクリックするとＲＳ－２３２Ｃ接続用のシリアルポート設定画面が表示されます。

番号	名　称	機　　能
①	現在の設定	現在のシリアル設定が表示されます。
②	伝送速度	9600（デフォルト） 1200、2400、4800、19200、38400、57600、115200 に設定可能
③	データビット	8（デフォルト） 5、6、7 に設定可能
④	パリティ設定	even（デフォルト） none、odd に設定可能
⑤	ストップビット	2（デフォルト） 1 に設定可能
⑥	フロー制御	スルーモード（デフォルト） ハードウェアフロー制御あり、ハードウェアフロー制御なしに設定可能
⑦	設定ボタン	クリックすると設定を更新します。
⑧	メインボタン	クリックするとメイン画面へ移動します。

※１スルーモード　：　Sproteg-M に接続された機器同士でフロー制御を行うモードです。

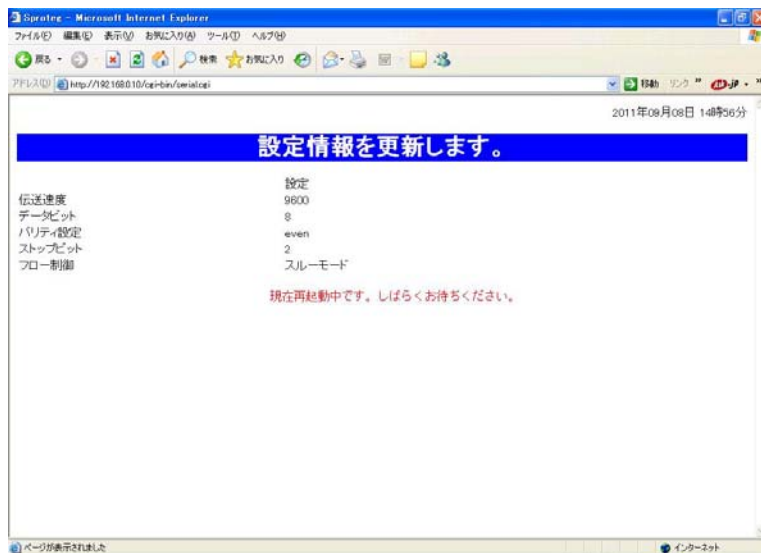
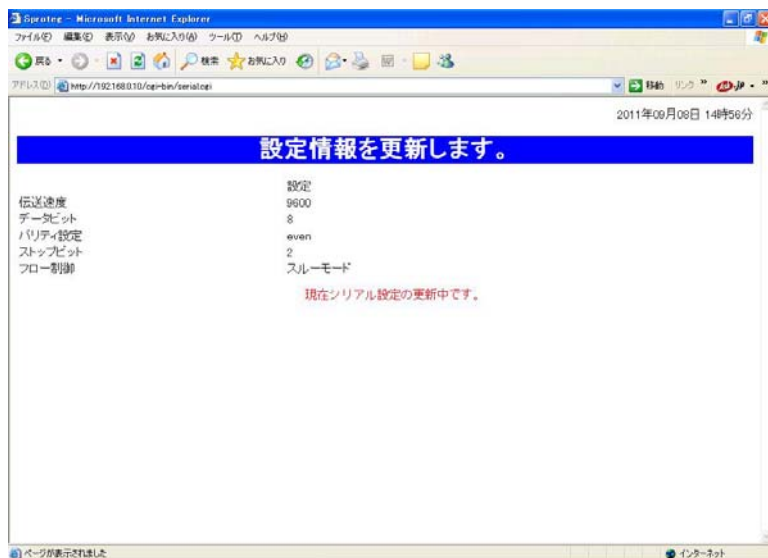
※２ハードウェア　：　Sproteg-M に接続された機器と Sproteg-M 間で DTR/DSR、
フロー制御あり：　RTS/CTS を使用したフロー制御を行うモードです。

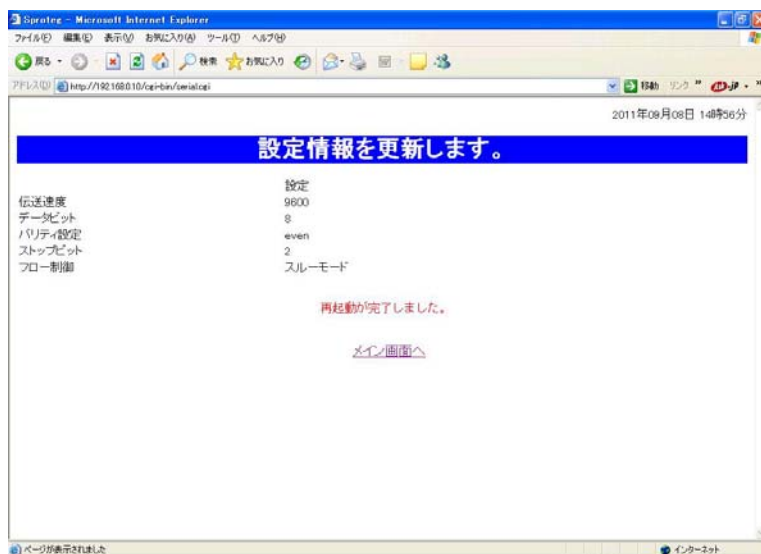
※３ハードウェア　：　フロー制御を行わずに通信をするモードです。
フロー制御なし：　DTR/DSR、RTS/CTS は無視されます。

5.7.2 設定更新画面

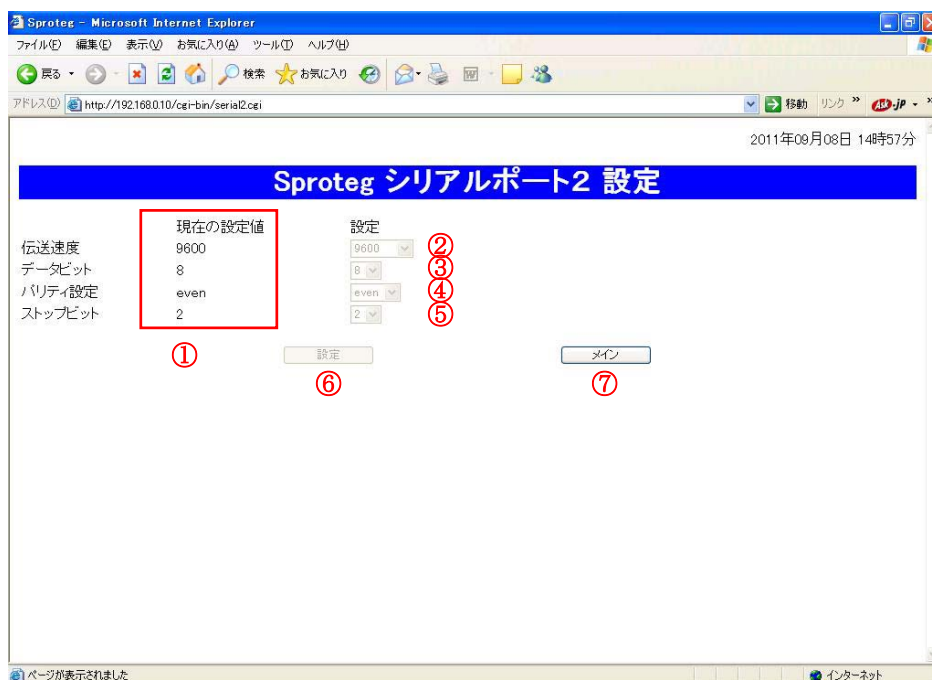
１）シリアルポート１設定画面から「**設定**」ボタンをクリックすると設定更新の確認画面が表示されます。

２）「ＯＫ」をクリックして下さい。
　設定情報の更新画面が表示されます。

　なお、「Cancel」をクリックすると設定の更新をキャンセルしシリアルポート１設定画面に戻ります。

３）設定更新の確認画面から「ＯＫ」ボタンをクリックすると設定更新画面が表示されます。

４）そのままお待ち頂くと機器が自動的に再起動します。
　　再起動が完了するまで約１分間お待ち下さい。

５）再起動が完了すると再起動完了の画面が表示されます。

６）「**メイン画面へ**」ボタンをクリックすると 21 ページのメイン画面に戻ります。

5.8　シリアルポート２画面

メイン画面から「シリアルポート２」ボタンをクリックするとマイク用のシリアルポート設定画面が表示されます。

※シリアルポート２の設定は変更できません。

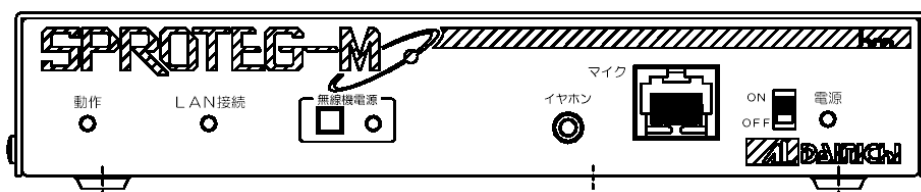
番号	名　称	機　　能
①	現在の設定	現在のシリアル設定が表示されます。
②	伝送速度	9600
③	データビット	8
④	パリティ設定	even
⑤	ストップビット	2
⑥	設定ボタン	設定変更不可のため操作できません。
⑦	メインボタン	クリックするとメイン画面へ移動します。

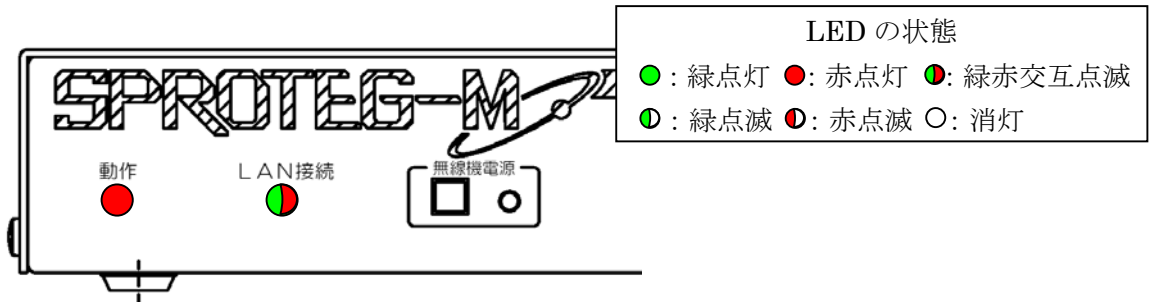
6　故障かなと思ったら

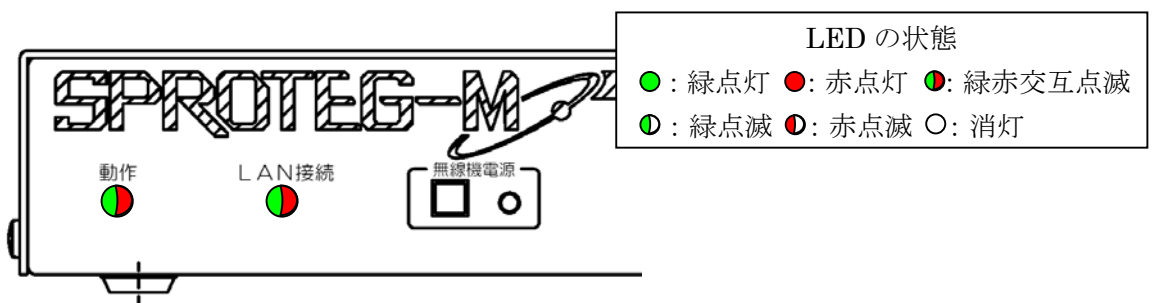
　マイクから操作ができない、音声が聞こえない、シリアルデータが通信できないといったようなトラブルが発生した場合には、本装置の LED の点灯状態を確認し、以下の点を確認して下さい。

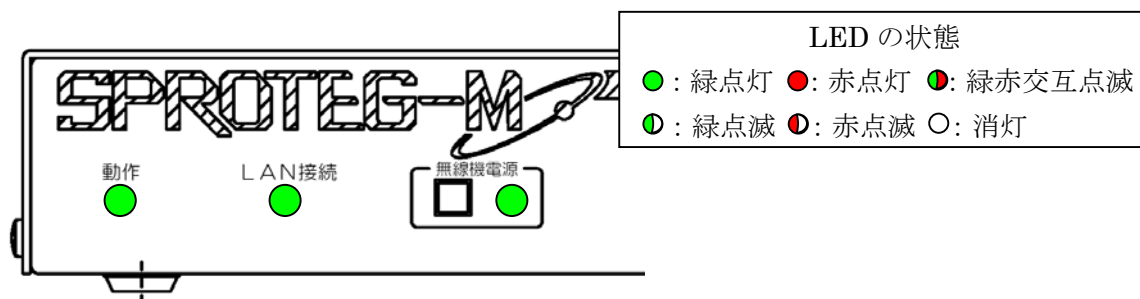
6.1　LED の点灯と動作状態

LED の状態
●：緑点灯 ●: 赤点灯 ◐: 緑赤交互点滅
◐：緑点滅 ◐: 赤点滅 ○: 消灯

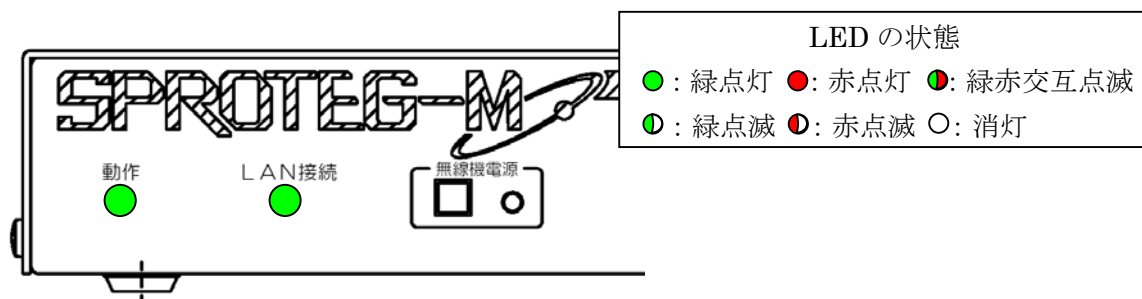
1）電源、動作、LAN 接続、無線機電源の全ての LED が消灯している。

原因　→　・Sproteg-M に電源が供給されていません。
確認　→　①電源スイッチは ON（上側）になっていますか。
　　　　　　もう一度電源スイッチを OFF－ON して下さい。
　　　　　②AC アダプタと Sproteg-M は接続されていますか。
　　　　　　もう一度コネクタをしっかりと差し込んで下さい。
　　　　　③AC アダプタがコンセントに接続されていますか。
　　　　　　もう一度 AC アダプタをしっかりと差し込んで下さい。
　　　　　④コンセントに通電はされていますか。
　　　　　　コンセントに電気が来ていることを確認して下さい。
　　　　　⑤Sproteg-M のヒューズが切れていませんか。
　　　　　　背面のヒューズホルダに入っているヒューズを確認して下さい。
　　　　　　ヒューズが切れている場合は添付のヒューズ(SLA-7963)と交換して下さい。
　　　　　※ヒューズを交換してもすぐにまたヒューズが切れる場合は AC アダプタを
　　　　　　抜いて、販売店へご連絡下さい。

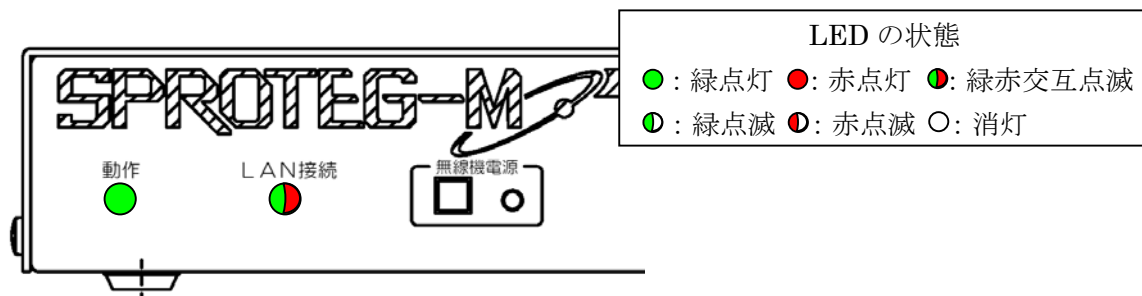
２）動作 LED が赤色点灯し、LAN 接続の LED が緑／赤に交互に点滅している。

原因 → ・Sproteg-M が起動動作を行っています。
確認 → ①Sproteg-M の電源を入れた場合は正常動作です。
約１分ほどお待ち頂き、LED の点灯状態が変わることを確認して下さい。
②Sproteg-M の電源 ON/OFF をしていない場合は以下の点を確認して下さい。
・AC アダプタと Sproteg-M は接続されていますか。
もう一度コネクタをしっかりと差し込んで下さい。
・AC アダプタがコンセントに接続されていますか。
もう一度 AC アダプタをしっかりと差し込んで下さい。
※電源 ON/OFF をしていないのに頻繁に発生する場合は販売店へご連絡下さい。
※１分経過後も LED の点灯状態が変わらない場合は販売店へご連絡下さい。

３）動作、LAN 接続の LED が緑／赤に交互に点滅している。

原因 → ・Sproteg-M がリセットされ起動動作を行っています。
確認 → ①web から Sproteg-M の設定を行った、web 画面の再起動ボタンを押した、
正面パネルの RESET スイッチを長押しした場合は正常動作です。
約１分ほどお待ち頂き、LED の点灯状態が変わることを確認して下さい。
※上記操作をしていないのに頻繁に発生する場合は販売店へご連絡下さい。
※１分経過後も LED の点灯状態が変わらない場合は販売店へご連絡下さい。

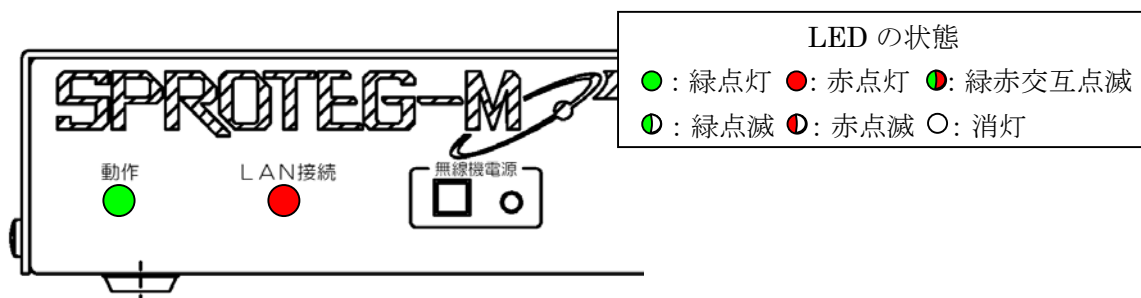
4）動作、LAN 接続、無線機電源の LED が緑色点灯している。

原因 → ・Sproteg-M は正常に通信を行っています。

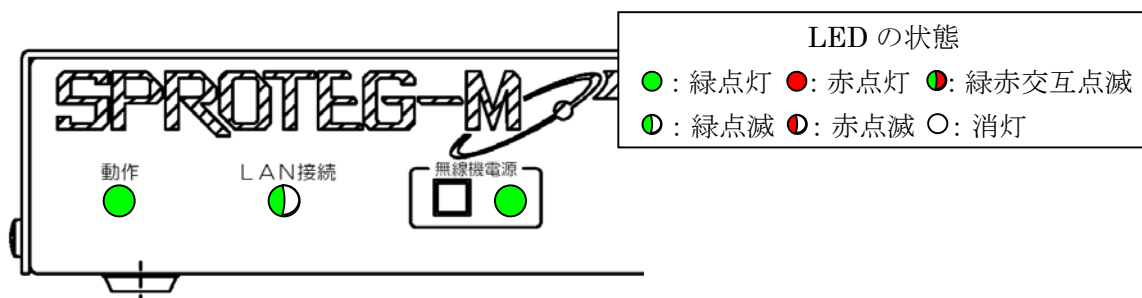
確認 → ①Sproteg-M とマイクは正しく接続されていますか。
もう一度マイクのコネクタをしっかりと差し込んで下さい。
②Sproteg-M と無線機は正しく接続されていますか。
もう一度無線機接続ケーブルを Sproteg－M の無線機コネクタと無線機のマイクコネクタにしっかりと差し込んで下さい。
③Sproteg-M の種類は正しいですか。
マイクは正面パネルに「マイク」と書かれたコネクタのある Sproteg-M に、無線機は背面パネルに「無線機」と書かれたコネクタのある Sproteg-M に、それぞれ接続をして下さい。
④無線機、マイクの種類は正しいですか。
接続可能な無線機、マイクの種類は本書の「11 使用可能な無線機とマイク」をご確認下さい。
⑤以上全て問題がない場合は、無線機、マイクの取扱説明書をご確認のうえ、無線機、マイクが正常に動作をするか確認して下さい。
⑥RS-232C コネクタは正しく接続されていますか。
もう一度 RS-232C ケーブルを Sproteg－M の RS-232C コネクタにしっかりと差し込んで下さい。

５）動作、LAN 接続の LED が緑色点灯し、無線機電源 LED が消灯している。

原因　→　・Sproteg-M は正常に通信を行っています。
確認　→　①無線機の電源はＯＮになっていますか。
Sproteg-M 前面の無線機電源スイッチやマイクからもう一度無線機の電源操作を行ってください。
②Sproteg-M と無線機は正しく接続されていますか。
もう一度無線機接続ケーブルを Sproteg－M の無線機コネクタと無線機のマイクコネクタにしっかりと差し込んで下さい。
③Sproteg-M の種類は正しいですか。
マイクは正面パネルに「マイク」と書かれたコネクタのある Sproteg-M に、無線機は背面パネルに「無線機」と書かれたコネクタのある Sproteg-M に、それぞれ接続をして下さい。
④無線機、マイクの種類は正しいですか。
接続可能な無線機、マイクの種類は本書の「11 使用可能な無線機とマイク」をご確認下さい。
⑤以上全て問題がない場合は、無線機、マイクの取扱説明書をご確認のうえ、無線機、マイクが正常に動作をするか確認して下さい。

６）動作 LED が緑色点灯し、LAN 接続 LED が緑／赤に交互に点滅している。

原因　→　・Sproteg-M は動作を開始していますが、対向局との通信ができていません。

確認　→　①Sproteg-M の電源を入れた場合は正常動作です。
約１分ほどお待ち頂き、LED の点灯状態が変わることを確認して下さい。
１分経過後も LED の点灯状態が変わらない場合は以下の点を確認して下さい。
②Sproteg-M に LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
背面の LAN コネクタと HUB とが LAN ケーブルでしっかりと接続されていることを確認して下さい。
また、対向局の接続についても同様に確認して下さい。
③対向の Sproteg-M は動作していますか。
対向局の LED の点灯状態を確認して下さい。
④Sproteg-M のネットワーク設定は正しく設定されていますか。
Sproteg-M にパソコンを接続し、web 画面から設定値や対向局の接続状態を確認して下さい。
また、対向局のネットワーク設定についても同様に確認して下さい。
⑤HUB やルータは正常に通信をしていますか。
パソコン等でネットワークの状態が正常であるか確認して下さい。

７）動作 LED が緑色点灯し、LAN 接続の LED が赤色点灯している。

原因 → ・Sproteg-M は動作を開始していますが、対向局との通信ができていません。
確認 → ①Sproteg-M に LAN ケーブルは正しく接続されていますか。
背面の LAN コネクタと HUB とが LAN ケーブルでしっかりと接続されていることを確認して下さい。
また、対向局の接続についても同様に確認して下さい。
②対向の Sproteg-M は動作していますか。
対向局の LED の点灯状態を確認して下さい。
③Sproteg-M のネットワーク設定は正しく設定されていますか。
Sproteg-M にパソコンを接続し、web 画面から設定値や対向局の接続状態を確認して下さい。
また、対向局のネットワーク設定についても同様に確認して下さい。
⑤HUB やルータは正常に通信をしていますか。
パソコン等でネットワークの状態が正常であるか確認して下さい。

８）動作、無線機電源の LED が緑色点灯し、LAN 接続 LED が緑色点滅している。

原因 → ・Sproteg-M は動作を開始していますが、対向局との通信でパケットエラーが発生しています。
確認 → ①Sproteg-M 間のネットワーク回線に障害が発生しています。
ネットワーク業者に問い合わせをしてください。

7　一般定格

項　目	規　格
外観形状	
標準寸法	高さ 37.5mm　幅 210mm　奥行 161mm（突起物含まず）
塗装色	マンセルＮ９．２半艶メラミン焼き付け塗装
本体重量	約 1.2kg
環境条件	
温　度	0℃～＋40℃
湿　度	35℃、85%（結露しないこと）
仕様定格	24 時間連続
入力条件	
電源電圧	AC100V±10%　（50Hz/60Hz）
消費電力	20VA 以下
インターフェース条件	
無線機側音声 IF	（SLA-3271 のみ）
周波数帯域	300～3400Hz
入力レベル	+14dBv±3dB／10KΩ（送信周波数 1000Hz における伝送レベル）
出力レベル	-10dBm±3dB／600Ω（送信周波数 1000Hz における伝送レベル）
マイク側音声 IF	（SLB-3271 のみ）
周波数帯域	300～3400Hz
入力レベル	-10dBm±3dB／600Ω（送信周波数 1000Hz における伝送レベル）
出力レベル	1.5W／8Ω　（送信周波数 1000Hz における伝送レベル）
マイク側音声 IF	（SLB-3271 のみ）
周波数帯域	300～3400Hz
出力レベル	0dBv／16Ω　（送信周波数 1000Hz における伝送レベル）
RS-232C IF	
通信速度	9600bps
データビット	8bit
パリティ設定	偶数
ストップビット	2bit
フロー制御	あり

項　目	規　　格
LAN IF	
通信規格	Ethernet 10Base-T/100Base-TX 自動切替
VOIP 機能	
制御プロトコル	独自方式、常時接続型
符号化レート	64Kbps
通信プロトコル	UDP／IP、TCP／IP

8　ネットワーク初期設定値

項　目	設定値
IPアドレス	192.168.0.10 (SLA-3271)／192.168.0.11 (SLB-3271)
通信ポート	16003、16004、16005
ユーザーＩＤ	admin
パスワード	admin

9　コネクタ ・ 端子表

（1）　無線機側入出力：Ｊ１（モジュラー１２Ｓ）

ﾋﾟﾝ番	項　目	I/O	項目名称	仕　　様
1	GND	-	ＧＮＤ	ＧＮＤ
2	PT	OUT	プレス制御出力	地気出力
3				
4	+9V	IN	電源状態入力	DC+9V
5	BUSY	IN	ビジー制御入力	DC+9V制御入力
6	AUDIO IN	IN	音声信号入力	+14dBv±3dB/10kΩ
7	RES	IN	マイクリセット入力	地気入力
8	通話	IN	通話制御入力	DC+9V制御入力
9	SOUT	OUT	シリアルデータ出力	
１０	SIN	IN	シリアルデータ入力	
１１	POW	OUT	電源制御出力	地気出力
１２	AUDIO OUT	OUT	音声信号出力	-10dBm±3dB/600Ω

（２）マイク側入出力：Ｊ１（モジュラー１２Ｓ）

ﾋﾟﾝ番	項　目	I/O	項目名称	仕　　様
1	GND	-	ＧＮＤ	ＧＮＤ
2	PT	IN	プレス制御入力	地気入力
3	MIC IN	IN	マイク信号入力	-53dBm±3dB/600Ω
4	+9V	OUT	電源出力	DC+9V±10%　400mA以下
5	BUSY	OUT	ビジー制御出力	DC+9V制御出力
6	AUDIO OUT	OUT	音声信号出力	1.5W/8Ω
7	RES	OUT	マイクリセット出力	地気出力
8	通話	OUT	通話制御出力	DC+9V制御出力
9	SIN	IN	シリアルデータ入力	
１０	SOUT	OUT	シリアルデータ出力	
１１	POW	IN	電源制御入力	地気入力
１２	AUDIO IN	IN	音声信号入力	-10dBm±3dB/600Ω

（３）　ＲＳ－２３２Ｃ（無線機側、マイク側共通）：ＣＮ１（Ｄ－ｓｕｂ９Ｐ）

ﾋﾟﾝ番	項　目	I/O	項目名称	仕　　様
1				
2	RXD	O	シリアル信号出力	
3	TXD	I	シリアル信号入力	
4	DTR	I	データ端末レディ入力	
5	GND	-	共通ＧＮＤ	ＧＮＤ
6	DSR	O	データセットレディ出力	
7	RTS	I	送信要求入力	
8	CTS	O	送信可出力	
9				

（４）イヤホン出力：Ｊ３（ステレオジャック　φ３．５）

ﾋﾟﾝ番	項　目	I/O	項目名称	仕　　様
1	GND	-	ＧＮＤ	ＧＮＤ
2	AUDIO OUT1	OUT	音声信号出力	0dBm±3dB/16Ω
3	AUDIO OUT2	OUT	音声信号出力	0dBm±3dB/16Ω

10 出荷時設定一覧表

(1) 無線機側（ＳＬＡ－３２７１）

項　目	デフォルト値
設　定	
名称設定	SprotegMA
モード設定	A
自局 IP アドレス	192.168.0.10
自局サブネットマスク	255.255.255.0
自局デフォルト ゲートウェイ	192.168.0.1
相手局 IP アドレス	192.168.0.11
制御ポート	16003
音声ポート OUT	16004
音声ポート IN	16005
管理者ログイン	admin
管理者パスワード	admin
時計	-
音声レベル	5
シリアルポート１	
伝送速度	9600
データビット	8
パリティ設定	even
ストップビット	2
フロー制御	スルーモード
シリアルポート２	
伝送速度	9600
データビット	8
パリティ設定	even
ストップビット	2

（２）マイク側（ＳＬＢ－３２７１）

項　目	デフォルト値
設　定	
名称設定	SprotegMB
モード設定	B
自局 IP アドレス	192.168.0.11
自局サブネットマスク	255.255.255.0
自局デフォルト ゲートウェイ	192.168.0.1
相手局 IP アドレス	192.168.0.10
制御ポート	16003
音声ポート OUT	16005
音声ポート IN	16004
管理者ログイン	admin
管理者パスワード	admin
時計	-
音声レベル	5
シリアルポート１	
伝送速度	9600
データビット	8
パリティ設定	even
ストップビット	2
フロー制御	スルーモード
シリアルポート２	
伝送速度	9600
データビット	8
パリティ設定	even
ストップビット	2

11 設定画面エラーメッセージ一覧表

項番	画面に表示される エラーメッセージ	内　　容
1	名称を設定してください。	・名称が未入力時
2	名称設定値が不正です。	・名称に半角英数字以外が入力されている場合 ・入力名称が 10 桁より上の時
3	自局 IP アドレスを設定してください。	・自局 IP アドレスが未入力時
4	自局 IP アドレス設定値が不正です。	・自局 IP アドレスの入力範囲が以下以外の場合 IP アドレスの１バイト目：1 ～ 223 IP アドレスの２バイト目：0 ～ 255 IP アドレスの３バイト目：0 ～ 255 IP アドレスの４バイト目：1 ～ 254
5	サブネットマスクを設定してください。	・サブネットマスクが未入力時
6	サブネットマスク設定値が不正です。	・サブネットマスクの入力範囲が以下以外の場合 サブネットマスクの１バイト目：0 ～ 255 サブネットマスクの２バイト目：0 ～ 255 サブネットマスクの３バイト目：0 ～ 255 サブネットマスクの４バイト目：0 ～ 255
7	デフォルトゲートウェイを設定してください。	・デフォルトゲートウェイが未入力時
8	デフォルトゲートウェイ設定値が不正です。	・デフォルトゲートウェイの入力範囲が以下以外の場合 IP アドレスの１バイト目：1 ～ 223 IP アドレスの２バイト目：0 ～ 255 IP アドレスの３バイト目：0 ～ 255 IP アドレスの４バイト目：1 ～ 254
9	制御ポートを設定してください。	・制御ポートが未入力時
10	制御ポート設定値が不正です。	・制御ポートの入力範囲が以下以外の場合 1 ～ 65535
11	音声ポート（OUT）を設定してください。	・音声ポート（OUT）が未入力時
12	音声ポート（OUT）設定値が不正です。	・音声ポート（OUT）の入力範囲が以下以外の場合 1 ～ 65535
13	制御ポートと音声ポート（OUT）に同一の値は入力できません。	・制御ポートと音声ポート（OUT）の入力値が同じ場合
14	音声ポート（IN）を設定してください。	・音声ポート（IN）が未入力時
15	音声ポート（IN）設定値が不正です。	・音声ポート（IN）の入力範囲が以下以外の場合 1 ～ 65535
16	制御ポートと音声ポート（IN）に同一の値は入力できません。	・制御ポートと音声ポート（IN）の入力値が同じ場合

項番	画面に表示される エラーメッセージ	内　　容
17	音声ポート（OUT）と音声ポート（IN）に同一の値は入力できません。	・音声ポート（OUT）と音声ポート（IN）の入力値が同じ場合
18	管理者ログイン ID を設定してください。	・管理者ログイン ID が未入力時
19	管理者ログイン ID は半角英数文字（10 文字以内）で入力してください。	・管理者ログイン ID に半角英数字以外が入力されている時 ・入力管理者ログイン ID が 10 桁より上の時
20	管理者パスワードを設定してください。	・管理者パスワードが未入力時
21	管理者パスワード設定値は半角英数記号（8 文字以内）で入力してください。	・管理者パスワード ID に半角英数文字以外が入力されている時 ・入力管理者パスワード ID が 8 桁より上の時
22	時計（年）を設定してください。	・時計（年）が未入力時
23	時計（年）設定値が不正です。	・時計（年）に数字以外が入力されている時 ・入力範囲が 1970～2038 以外の時
24	時計（月）を設定してください。	・時計（月）が未入力時
25	時計（月）設定値が不正です。	・時計（月）に数字以外が入力されている時 ・入力範囲が 1～12 以外の時
26	時計（日）を設定してください。	・時計（日）が未入力時
27	時計（日）設定値が不正です。	・時計（日）に数字以外が入力されている時 ・入力されている月が 4,6,9,11 月の場合で、入力範囲が 1～30 以外の時 ・入力されている月が 1,3,5,7,8,10,12 月の場合で、入力範囲が 1～31 以外の時 ・入力されている月が 2 月で閏年の場合で、入力範囲が 1～29 以外の時 ・入力されている月が 2 月で閏年でない場合で、入力範囲が 1～28 以外の時
28	時計（時）を設定してください。	・時計（時）が未入力時
29	時計（時）設定値が不正です。	・時計（時）に数字以外が入力されている時 ・入力範囲が 0～23 以外の時
30	時計（分）を設定してください。	・時計（分）が未入力時
31	時計（分）設定値が不正です。	・時計（分）に数字以外が入力されている時 ・入力範囲が 0～59 以外の時
32	時計（秒）を設定してください。	・時計（秒）が未入力時

項番	画面に表示される エラーメッセージ	内　　容
33	時計（秒）設定値が不正です。	・時計（秒）に数字以外が入力されている時 ・入力範囲が 0～59 以外の時
34	時計は 1970 年 1 月 1 日 9 時 0 分 0 秒から 2038 年 1 月 19 日 12 時 14 分 7 秒の間で入力してください。	・時計の入力範囲が、1970/01/01 09:00:00 ～ 2038/01/19 12:14:07 以外の時
35	音声レベルを設定してください。	・音声レベルが未入力時
36	音声レベル設定値が不正です。	・音声レベルに数字以外が入力されている時 ・入力範囲が 0～10 以外の時
37	設定ファイル書き込み処理中にエラーが発生しました。	・設定ファイルへの書き込みエラーが発生した場合 ※このエラーが出た場合は、再度設定の更新を行ってください。 ※何度もエラーが繰り返される場合は、機器の故障が考えられますので修理をご依頼下さい。

12 使用可能な無線機とマイク

機種	品 名	型 名	製 造
無線機	車載型無線機	EF-6190	パナソニック（株）
無線機	車載型無線機	FM-807F02	三菱電機システムサービス（株）
マイク	ハイパースピーカーマイク	EF-M50010AA	パナソニック（株）
マイク	テンキースピーカーマイク	FZ-3450A	三菱電機システムサービス（株）

13 インターネット網利用時に別途必要なもの

項目	仕 様	推 奨
IP回線	光回線を利用すること ※最低100Kbpsの通信速度が必要です ※２拠点分必要です	フレッツグループが利用できる場合 「フレッツ光＋フレッツグループ」 フレッツグループが利用できない場合 「フレッツ光＋固定 IP」
VPN ルーター	VPN接続ができるルーター ※２拠点分必要です	型名：RT58i 製造：ヤマハ

■設定した内容をご記入ください。

（１） 無線機側（ＳＬＡ－３２７１）

項　目	デフォルト値	設定値
設　定		
名称設定	SprotegMA	
モード設定	A	
自局 IP アドレス	192.168.0.10	
自局サブネットマスク	255.255.255.0	
自局デフォルト ゲートウェイ	192.168.0.1	
相手局 IP アドレス	192.168.0.11	
制御ポート	16003	
音声ポート OUT	16004	
音声ポート IN	16005	
管理者ログイン	admin	
管理者パスワード	admin	
時計	-	
音声レベル	5	
シリアルポート１		
伝送速度	9600	
データビット	8	
パリティ設定	even	
ストップビット	2	
フロー制御	スルーモード	

■設定した内容をご記入ください。

（２） 無線機側（ＳＬＢ－３２７１）

項　目	デフォルト値	設定値
設　定		
名称設定	SprotegMB	
モード設定	B	
自局 IP アドレス	192.168.0.11	
自局サブネットマスク	255.255.255.0	
自局デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1	
相手局 IP アドレス	192.168.0.10	
制御ポート	16003	
音声ポート OUT	16005	
音声ポート IN	16004	
管理者ログイン	admin	
管理者パスワード	admin	
時計	-	
音声レベル	5	
シリアルポート１		
伝送速度	9600	
データビット	8	
パリティ設定	even	
ストップビット	2	
フロー制御	スルーモード	

DAINICHI Sproteg-M (SLA-3271,SLB-3271) 取扱説明書
製造元：株式会社 大日電子
〒564-0053 大阪府吹田市江の木町 12-27
TEL：06-6339-6299 ／ FAX：06-6339-6352
Email：webmaster@dainichi-el.co.jp
当社ホームページ http://www.dainichi-el.co.jp